第126回定例会

南部町議会会議録

令和6年8月30日 開会

令和6年9月6日 閉会

南部町議会

第 1 2 6 回南部町議会 定例会会議録目次

第 1 号（8月30日）

○議事日程	1
○本日の会議に付した事件	2
○出席議員	2
○欠席議員	2
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	2
○職務のため出席した者の職氏名	3
○開会及び開議の宣告	4
○議会運営委員会の報告	4
○会議録署名議員の指名	5
○会期の決定	5
○諸般の報告	6
○町長提出議案提案理由の説明	6
○報告第17号の上程、説明、質疑	11
○議案第63号から議案第78号までの上程、委員会付託	12
○散会の宣告	13

第 2 号（9月2日）

○議事日程	15
○本日の会議に付した事件	15
○出席議員	15
○欠席議員	15
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	16
○職務のため出席した者の職氏名	16
○開議の宣告	17
○一般質問	17

沼 畑 俊 吉 君	1 7
小 橋 昭 裕 君	2 4
工 藤 愛 君	3 3
○散会の宣告	3 8

第 3 号 (9月6日)

○議事日程	3 9
○本日の会議に付した事件	4 0
○出席議員	4 0
○欠席議員	4 0
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	4 0
○職務のため出席した者の職氏名	4 1
○開議の宣告	4 2
○議案第63号から議案第78号までの委員会報告、討論、採決	4 2
○議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決	4 3
○議案第80号の上程、説明、質疑、討論、採決	4 4
○議案第81号の上程、説明、質疑、討論、採決	4 6
○議案第82号の上程、説明、質疑、討論、採決	4 7
○議案第83号の上程、説明、質疑、討論、採決	5 3
○議案第84号の上程、説明、質疑、討論、採決	5 4
○議案第85号の上程、説明、質疑、討論、採決	5 6
○議案第86号の上程、説明、質疑、討論、採決	5 8
○議案第87号の上程、説明、質疑、討論、採決	5 9
○常任委員会報告	6 0
○委員会の閉会中の継続調査の件	6 1
○日程の追加	6 1
○町長追加提出議案提案理由の説明	6 2
○議案第88号の上程、説明、質疑、討論、採決	6 3

○議案第89号の上程、質疑、討論、採決	64
○閉会の宣告	65
○署名議員	69

令和6年8月30日（金曜日）

第126回南部町議会定例会会議録

（第1号）

第126回南部町議会定例会

議事日程（第1号）

令和6年8月30日（金）午前10時開議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 諸般の報告
- 第 4 町長提出議案提案理由の説明
- 第 5 報告第 17号 令和5年度南部町財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について
- 第 6 議案第 63号 令和5年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について
- 第 7 議案第 64号 令和5年度南部町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 8 議案第 65号 令和5年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 9 議案第 66号 令和5年度南部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 10 議案第 67号 令和5年度南部町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 11 議案第 68号 令和5年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 12 議案第 69号 令和5年度南部町病院事業会計利益剰余金処分の議決及び決算認定について
- 第 13 議案第 70号 令和5年度南部町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 14 議案第 71号 令和5年度南部町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 15 議案第 72号 令和5年度南部町営地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 16 議案第 73号 令和5年度南部町大字上名久井財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 17 議案第 74号 令和5年度南部町大字平財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 18 議案第 75号 令和5年度南部町大字平字下平外14字財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 19 議案第 76号 令和5年度南部町大字下名久井字田端外17字財産区特別会計歳入歳出決算認定について

第 20 議案第 77号 令和5年度南部町大平財産区特別会計歳入歳出決算認定について

第 21 議案第 78号 令和5年度南部町名久井岳財産区特別会計歳入歳出決算認定について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（15名）

1番	沼 畑 俊 吉 君	2番	夏 堀 剛 充 君
3番	小 橋 昭 裕 君	4番	工 藤 愛 君
5番	松 本 啓 吾 君	6番	久 保 利 樹 君
7番	坂 本 典 男 君	8番	滝 田 勉 君
9番	西 野 耕太郎 君	10番	山 田 賢 司 君
11番	八木田 憲 司 君	12番	中 館 文 雄 君
13番	工 藤 正 孝 君	14番	根 市 勲 君
15番	馬 場 又 彦 君		

欠席議員（1名）

16番 川守田 稔 君

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	工 藤 祐 直 君	副 町 長	佐々木 俊 昭 君
総務課参事	西 館 昌 男 君	企画財政課長	菅 谷 信 也 君
交流推進課長	下井田 耕 一 君	税務課参事	松 原 浩 紀 君
住民生活課長	夏 堀 勝 徳 君	福祉介護課長	戸 室 正 樹 君
健康こども課長	夏 坂 和 徳 君	農 林 課 長	高 森 正 博 君
商工観光課長	川 村 一 城 君	建 設 課 長	石 橋 一 史 君
会計管理者	宮 崎 典 子 君	医療センター参事	岩 間 雅 之 君
市 場 長	藤 原 正 利 君	教 育 長	高 橋 力 也 君
学 務 課 長	北 上 隆 広 君	社会教育課参事	柳久保 正 弘 君
農業委員会事務局長	野 月 正 治 君		

◎開会及び開議の宣告

○議長（工藤正孝君） これより第126回南部町議会定例会を開会いたします。
本日の会議を開きます。
議事日程は、お手元に配付のとおりです。

（午前10時00分）

◎議会運営委員会の報告

○議長（工藤正孝君） ここで議会運営委員長から、本定例会の運営について議会運営委員会の報告を求めます。議会運営委員長、八木田憲司君。

（議会運営委員会委員長 八木田憲司 登壇）

○議会運営委員会委員長（八木田憲司君） おはようございます。

去る、8月23日議会運営委員会を開催し、第126回定例会の運営について協議しましたので決定事項をご報告します。

本定例会に付議されました事件は、町長提出の案件が報告1件、令和5年度の決算認定16件、条例など3件、令和6年度補正予算6件であります。令和5年度決算につきましては、決算特別委員会を設置し、審査を付託することにしました。そのほか案件として、常任委員会報告などがあります。

一般質問は3名から通告があり「一般質問通告一覧表」のとおり行うことにしました。

以上のことを踏まえて、本定例会の会期は、本日、8月30日から9月6日までの8日間としました。

なお、会期中、8月31日、9月1日は休日のため、9月3日は議案熟考のため、9月4日、5日は決算特別委員会のため休会にします。

以上のとおり決定しましたので、理事者並びに議員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

これで、議会運営委員会の報告を終わります。

○議長（工藤正孝君） 議会運営委員長の報告が終わりました。

◎会議録署名議員の指名

○議長（工藤正孝君） 日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により、議長において、14番根市勲君、1番沼畑俊吉君を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（工藤正孝君） 日程第2「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、議会運営委員会の報告のとおり、本日、8月30日から9月6日までの8日間にしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。

会期は、本日から9月6日までの8日間と決定しました。

○議長（工藤正孝君） お諮りします。

ただいま決定されました8日間の会期中、8月31日、9月1日は休日のため、9月3日は議案熟考のため、9月4日、5日は決算審議のため休会にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。
ただいまの5日間は休会とすることに決定しました。

◎諸般の報告

○議長（工藤正孝君） 日程第3「諸般の報告」をします。
諸般の報告につきましては、配布のとおりでございますので、朗読は省略します。
なお、監査委員より令和6年度財政援助団体等監査の結果について報告がありましたので、その写しも併せて配布しておきます。
本定例会の上程は、町長提出の案件が、報告1件、議案は、決算認定16件、条例等3件、補正予算6件、ほかに、常任委員会報告などがあります。
日程により、それぞれ議題とします。

◎町長提出議案提案理由の説明

○議長（工藤正孝君） 日程第4「町長提出議案提案理由の説明」を求めます。
町長の登壇を求めます。町長。

（町長 工藤祐直君 登壇）

○町長（工藤祐直君） 本日招集の第126回南部町議会定例会を開会するにあたり、議員各位には何かとご多忙のところ、ご出席をいただき、提出案件につきまして、ご審議を賜りますことに、厚く御礼を申し上げます。

議案の説明の前に、町政の諸般の概要についてご報告申し上げます。

まずは、先月25日から26日にかけて、山形県と秋田県を中心に、記録的な大雨による洪水や土砂崩れなど、甚大な被害が発生したところであり、お亡くなりになられた方々のご冥福を深くお祈りいたしますとともに、被災された方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

近年は、線状降水帯の発生などによる局地的な豪雨災害が増加しており、刻々と変化する気象状況に注意を払い、万が一に備えて速やかに対応していく必要があります。

当町においては、今年12日に東北地方に上陸した台風5号による大雨災害に備え、町内3か所の自主避難所を開設して警戒に当たったところであり、倒木被害や停電はあったものの、幸いにして大きな災害につながることはなく、ひと安心いたしました。現在九州に上陸した台風第10号が猛威をふるい、台風本体から離れた地域でも影響を受けている状況でありますので、今後の動向を注視しながら、町民の皆様の安全を第一に考え、厳重な警戒体制で対応してまいります。

また、10月27日には、地震、火災及び大雨による被害の発生を想定した南部町総合防災訓練を、ふるさと運動公園および名川中学校を主会場に実施いたします。

南部町地域防災計画等に基づき、防災関係機関や町民の皆様の参加・協力のもと、災害時における相互協力体制の確立と、防災意識の高揚を図ることを目的に、総合的かつ実践的な訓練を実施するものであり、関係各位、多数のご参加をお願いするものであります。

防災訓練の当日は、庁舎町民広場において、子どもから大人まで気軽に楽しめる体験型防災イベントとして、南部町防災フェスティバルを開催することとしており、飲食店やキッチンカーの出店もごございますので、多くの町民の皆様にお越しいただき、イベントを楽しみながら、防災について学んでいただきたいと考えております。

次に、物価高騰支援及び子育て世帯への支援についてであります。今年13日に、物価高騰支援商品券と高校生修学支援金の交付式を行ったところであります。

物価高騰支援商品券につきましては、町民一人当たり3,000円の商品券を、今年14日から順次、発送しているところであり、物価高騰による家計への負担を軽減するとともに、町内での消費活動により町内経済の活性化につなげるため、有効期限である令和7年1月末までに是非ご利用いただきたいと思っております。

高校生修学支援金につきましては、高校生の保護者である町民については生徒1人につき5万円、町外から名久井農業高校に通う高校生の保護者については生徒1人につき3万円を、今年13日から順次、口座振込により給付を行っているところであります。

さて、7月26日から8月11日まで開催されたパリオリンピックであります。日本代表選手団は、金メダルの数、メダル総数ともに、海外で行われたオリンピックでは過去最多となる大活躍でありました。選手それぞれが思いを胸に、またチームが一丸となって各競技に臨む姿は、大きな感動を与えてくれました。

現在、開催されておりますパラリンピックにおきましても、日本代表選手団のご活躍を期待す

るところであります。

そして、明後日には、台風の影響が心配されるところではありますが、本日午後3時に、開催するか否かの会議を開催すると。そこで決定されると伺っております。

南部町選手団の皆様におかれましては、2連覇を果たした平成30年度以来の町の部での首位奪還、さらには平成23年度以来の2度目の総合優勝を目指し、日頃の練習の成果を出し切って、ご活躍されることを期待し、町民の皆様とともに精一杯の応援をさせていただきたいと思っております。

なお、開催された場合は今大会はテレビ中継が行われなかったということでありまして、ラジオ放送での中継になると伺っております。

それでは、本定例会に提出いたしました案件であります。報告1件、令和5年度決算の認定16件、条例の制定等3件、令和6年度一般会計及び各特別会計の補正予算案が6件の、合わせて26件でございます。

順にご説明申し上げ、審議のご参考に供したいと存じます。

まず始めに、報告第17号「令和5年度南部町財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について」であります。地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和5年度の南部町の財政の健全性を判断するため、4つの指標を用いてご報告し、また、各公営企業の経営健全性を、資金不足比率を用いてご報告するものであります。

健全化判断比率及び資金不足比率につきましては、いずれも赤字額、資金不足額がなく、実質公債費比率も、早期健全化基準を下回っており、引き続き、健全な財政運営の維持に努めてまいり所存であります。

次に、議案第63号から議案第78号までであります。令和5年度の各会計決算16件につきまして、監査委員の意見を付して議会の認定を求めるものでございます。

各会計の詳細につきましては、会計管理者及び担当課長からご説明いたしますので、私からは一般会計決算の概要についてご説明申し上げます。

議案第63号「令和5年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について」であります。予算総額は、歳入歳出それぞれ120億2,436万8,000円で、これに対し収入済額は117億8,091万1,404円、支出済額は、115億715万5,333円となりました。

この結果、歳入歳出差引額は、2億7,375万6,071円で、翌年度へ繰り越すべき財源3,538万4,000円を除いた実質収支額は、2億3,837万2,071円であり、このうち、地方自治法の規定により、財政調整基金に1億2,000万円、減債基金に1,000万円の、合わせて1億3,000万円を積み立てしております。

監査委員からは「財務事務及び財産管理についても概ね適正に処理されているものと認められた」との総括意見をいただいておりますが、今後とも、町税等の自主財源を中心とした歳入の確保に努めるとともに、歳出においては、将来に渡ってより高い政策効果を生み出すことを考慮した効率的な予算の活用と、事務事業の合理化に努め、今後ますます複雑多様化する行政需要のほか、災害など不測の事態にも即時に対応できる財政基盤を維持してまいる所存でありますので、議員各位のご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。

なお、令和5年度の主要施策の成果につきましては、別冊で「行政報告書」として、お手元に配付しておりますので、決算審議のご参考にしていただきたいと思います。

次に、議案第79号「南部町国民健康保険条例及び南部町個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について」であります。行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正により、令和6年12月2日から、健康保険の被保険者証が原則廃止され、マイナンバーカードに一体化されることに伴い、関係する条例の改正を行うものであります。

次に、議案第80号「南部町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」であります。災害弔慰金等の支給に当たり、自然災害に起因する死亡であるか否かの判定が困難である場合、いわゆる災害関連死の疑いがある事案等について、その判定に公正を期すため、調査審議を行っていただく機関として、医師や弁護士などで構成する「災害弔慰金等支給審査委員会」を新たに設置することについて、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第81号「青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について」であります。行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正により、令和6年12月2日から、後期高齢者医療制度の被保険者証が原則廃止され、マイナンバーカードに一体化されることに伴い、地方自治法の規定に基づき、青森県後期高齢者医療広域連合規約を変更することについて協議するものであります。

次に、議案第82号「令和6年度南部町一般会計補正予算（第4号）」であります。歳入歳出予算の総額に、1億4,294万9,000円を追加し、予算の総額を、120億423万6,000円とするものであります。

主な内容といたしましては、まず1点目は、衛生費であります。令和5年度の新型コロナウイルスワクチン接種対策費の確定に伴う国庫補助金返還金として、1,379万2,000円を計上するものであります。

2点目は、商工費であります。7,500円分の商品券を5,000円で3万セット販売する「特別

プレミアム商品券事業」に、8,756万7,000円を計上するものであります。

3点目は、土木費であります。本年度に解体することとしている旧福田集会所の用地に除雪機械格納庫を建設するための設計業務に1,980万円、公営住宅管理システムの更新業務に1,350万円、合わせて3,330万円を計上するものであります。

4点目は、教育費であります。現在も燃料費をはじめとする物価高騰が続いていることから、昨年度と同様に子育て世帯への支援を実施するため、ふるさとからの贈り物事業に177万3,000円、受験生世帯灯油購入支援給付金に765万円、大学生等を持つ親等への支援金に935万円、合わせて1,877万3,000円を計上するものであります。

そのほか、債務負担行為に、令和7年度から令和8年度までの南部町包括業務として2億7,900万円を追加するとともに、地方債に、除雪機械格納庫設計業務に係る道路管理施設整備事業債として1,880万円を追加するものであります。

以上が一般会計補正予算の主な内容であります。

次に、議案第83号「令和6年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）」であります。会計年度任用職員の児童手当支給対象者の増に対応するため人件費を増額するものであり、歳入歳出予算の総額に、50万円を追加し、予算の総額を、1億1,350万円とするほか、債務負担行為に、令和7年度から令和8年度までの南部町包括業務として140万円を追加するものであります。

次に、議案第84号「令和6年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」であります。人事異動に伴う人件費の増額、国民健康保険事業費納付金の減額、令和5年度事業費の確定に伴う返還金の増額など、歳入歳出予算の総額に、759万4,000円を追加し、予算の総額を、22億1,091万3,000円とするほか、債務負担行為に、令和7年度から令和8年度までの南部町包括業務として1,370万円を追加するものであります。

次に、議案第85号「令和6年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）」であります。歳入においては、介護保険料基準月額引き下げに伴う介護保険料の減額などを計上し、歳出においては、令和5年度介護給付費、地域支援事業費の確定に伴う返還金の増額を計上するなど、保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に、1億428万1,000円を追加し、予算の総額を29億5,627万7,000円とするものであります。

次に、議案第86号「令和6年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」であります。人事異動に伴う人件費の減額のため、歳入歳出予算の総額から、95万4,000円を減額し、予算の総額を2億9,553万3,000円とするほか、債務負担行為に、令和7年度から令和8年度

までの南部町包括業務として 530 万円を追加するものであります。

次に、議案第 87 号「令和 6 年度南部町下水道事業会計補正予算（第 1 号）」であります。人事異動に伴う人件費の増額のため、収益的支出に 208 万 9,000 円、資本的支出に 82 万 9,000 円をそれぞれ追加し、収益的支出の総予定額を 4 億 2,229 万 5,000 円、資本的支出の総予定額を 6 億 5,116 万 6,000 円とするものであります。

以上、本定例会に提出いたしました、議案の概要について、ご説明申し上げましたが、議事の進行に伴い、また、ご質問に応じまして、本職はじめ、副町長、教育長、担当課長より詳細にご説明いたしますので、慎重審議の上、何卒、原案のとおり、ご議決を賜りますようお願い申し上げます。

なお、会期中に、「旧杉沢中学校解体工事にかかる工事請負契約の締結について」及び「人権擁護委員の候補者の推薦について」の案件を追加させていただく予定でありますので、付け加えさせていただき、提案理由の説明といたします。

よろしく願いいたします。

○議長（工藤正孝君） 町長提出議案提案理由の説明が終わりました。

◎報告第17号の上程、説明、質疑

○議長（工藤正孝君） 日程第 5、報告第 17 号「令和 5 年度南部町財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について」を議題とします。

本案について説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課長（菅谷信也君） おはようございます。

それでは、説明資料の 3 ページをお開き願います。

報告第 17 号「令和 5 年度南部町財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について」ご説明申し上げます。

1 の健全化判断比率及び資金不足比率の趣旨でございますが、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、令和 5 年度の健全化判断比率等について、監査委員の意見を付して報告するものでございます。

2の南部町の健全化判断比率でございますが、実質赤字比率及び連結実質赤字比率及び一つとんで将来負担比率につきましては、いずれも比率が算定されませんでしたので「－」としております。

3つ目の指標、実質公債費比率は8.1%となり、昨年度より0.5ポイント増加しておりますが、早期健全化基準である25%より大幅に低い数値であり、町財政の健全性は引き続き保たれているものと考えております。

3の南部町公営企業の資金不足比率でございますが、病院事業会計をはじめ、全ての公営企業会計において不足額がないことから、いずれも「－」としております。

以上の健全化判断比率及び資金不足比率に対し、監査委員からは、「いずれも特に指摘すべき事項はない」とのご意見をいただいていることを申し添え、説明といたします。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。

これで報告第17号を終わります。

◎議案第63号から議案第78号までの上程、委員会付託

○議長（工藤正孝君） お諮りします。

日程第6「議案第63号」から日程第21「議案第78号」までの令和5年度南部町各会計歳入歳出決算認定についての議案16件を会議規則第37条の規定により一括議題にしたいと思っております。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。

「議案第63号」から「議案第78号」までの議案16件を一括議題とします。

お諮りします。

ただいま議題といたしました「議案第63号」から「議案第78号」までの議案16件については、委員会条例第6条の規定による議員全員をもって構成する決算特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 異議なしと認めます。

「議案第63号」から「議案第78号」までの令和5年度南部町各会計歳入歳出決算認定についての議案16件については、議員全員をもって構成する決算特別委員会を設置し、これに付託して審査をすることに決定しました。

なお、決算特別委員会の委員長及び副委員長については、委員会条例第9条第2項の規定により、委員会で互選することになっております。

委員長及び副委員長を互選するための決算特別委員会をこの席から口頭をもって招集します。

本日、本会議終了後、この議場において、決算特別委員会を開催いたしますので、ご了承願います。

◎散会の宣告

○議長(工藤正孝君) 以上で本日の日程は全部終了しました。

なお、9月2日は午前10時から本会議を再開します。

本日はこれで散会します。

(午前10時29分)

令和6年9月2日（月曜日）

第126回南部町議会定例会会議録

（第2号）

第126回南部町議会定例会

議事日程（第2号）

令和6年9月2日（月）午前10時開議

第 1 一般質問

1 番 沼 畑 俊 吉

1. 鳥獣被害対策について

3 番 小 橋 昭 裕

1. 地方自治法について

2. 令和6年1月、最高裁判所の棄却により南部町の敗訴が確定した件について

4 番 工 藤 愛

1. 中学校における教育環境について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（16名）

1 番	沼 畑 俊 吉 君	2 番	夏 堀 剛 充 君
3 番	小 橋 昭 裕 君	4 番	工 藤 愛 君
5 番	松 本 啓 吾 君	6 番	久 保 利 樹 君
7 番	坂 本 典 男 君	8 番	滝 田 勉 君
9 番	西 野 耕 太 郎 君	10 番	山 田 賢 司 君
11 番	八 木 田 憲 司 君	12 番	中 舘 文 雄 君
13 番	工 藤 正 孝 君	14 番	根 市 勲 君
15 番	馬 場 又 彦 君	16 番	川 守 田 稔 君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	工藤 祐直 君	副町長	佐々木 俊昭 君
総務課参事	西舘 昌男 君	企画財政課長	菅谷 信也 君
交流推進課長	下井田 耕一 君	税務課参事	松原 浩紀 君
住民生活課長	夏堀 勝徳 君	福祉介護課長	戸室 正樹 君
健康こども課長	夏坂 和徳 君	農林課長	高森 正博 君
商工観光課長	川村 一成 君	建設課長	石橋 一史 君
会計管理者	宮崎 典子 君	医療センター参事	岩間 雅之 君
市場長	藤原 正利 君	教育長	高橋 力也 君
学務課長	北上 隆広 君	社会教育課参事	柳久保 正弘 君
農業委員会事務局長	野月 正治 君		

職務のため出席した者の職氏名

事務局長	岩木 育子	主査	佐々木 慶
主査	小泉 清夏		

◎開議の宣告

○議長（工藤正孝君） これより第126回南部町議会定例会を再開します。

本日の会議を開きます。

議事日程はお手元に配付のとおりであります。

（午前10時04分）

◎一般質問

○議長（工藤正孝君） 日程第1、一般質問を行います。

質問の回数は3回までとし、制限時間は質問、答弁を合わせて60分以内とします。制限時間5分前になりましたらチャイムでお知らせをします。質問者並びに答弁者は簡潔明瞭にご発言願います。反問の際は、質問の内容を確認するものとし、質問者への考えを問うもの及び反論は行わないようお願いいたします。また、通告外の質問は行わないようお願いいたします。

これより通告順に発言を許します。

1番、沼畑俊吉君の質問を許します。沼畑俊吉君。

（1番 沼畑俊吉君 登壇）

○1番（沼畑俊吉君） おはようございます。

このたびは、本定例会で質問の機会をいただいたことに心から感謝を申し上げるとともに、日頃より、この議場にいらっしゃる皆さんの南部町をより良くするご尽力に対し、感謝の気持ちを最後まで忘れずに頑張りたいと思います。よろしく願い申し上げます。

先ほど会議前に教育長さんから、県民駅伝のご報告がございました。大変、関係者、選手の皆さんの努力の成果が結果に結びついたのではないかと、ねぎらいの意と、強く南部町のPRにも貢献しているということで、議員の一人として感謝と敬意を表したいと思います。来年度期待できるという声があったので、さらなる声援を議員としても送り、来年、楽しみにしております。

それでは質問に入ります。

去る7月10日、12日で、広島県への町長同行による議員団の視察研修が行われたところでございます。議員として初めての参加ではありましたが、大変学びの多い研修でした。広島市では災害対策、復旧事業、そして熊野町、三原市においては、今回のテーマであります鳥獣被害対策を、職員の方々、議員の方々から丁寧にご説明をいただき、南部町議員団としては、時間が足りないほどの質疑がなされたのを思い出されます。特に熊野町、三原市の状況と取組の特徴を簡単に説明いたします。

熊野町においては、イノシシの被害が最も多く、年間捕獲頭数が、令和3年度は242頭、令和4年度が238頭、令和5年度が76頭ありました。令和5年度が少なかったのは、豚熱の蔓延が考えられるということでした。最大の熊野町の特徴は、集落にふぁーむ我花咲という団体が、鳥獣対策の勉強会やモデル圃場、モデル圃場というのは、畑に実際、正しい柵を、防護する柵を張る圃場をつくったり、住民の鳥獣対策知識の向上や理解を深めるのに研修会を開いたりしている、努力されているとのことでした。

最終日の三原市ですが、イノシシの年間捕獲頭数が令和3年が1,400頭近く、令和4年度が1,200頭ぐらい、令和5年度が1,200頭弱ぐらいで、桁違いの数字に驚いたところです。ここでの最大の特徴は、平成31年度から退職者であり、猟友会メンバーでもあった営農指導嘱託職員という存在でした。専門の職員さんが正しい知識を深め、集落にモデル地区をつくり、地域にリーダーとなる人材を育成し、成果を上げると、ほかの集落が主体的にやりたいと手を挙げて、モデル集落の輪が広がっているということでした。

今回の視察で共通して強く感じたのは、行政職員さんの奮闘、ご努力が住民の主体性を育む点を重視されたことが、しっかり結果につながっている点。

2つ目が、対処的対策と、害鳥獣を寄せないという予防政策に、より重きを置いている点でした。私にとっても、我々が何気なく暮らしている習慣が、実は鳥獣害の格好の餌場をつくっていたことに納得させられました。

以上から、南部町の鳥獣被害対策にも、住民による自助や共助を手助けされる視点を入れた公助の取組が必要ではないかと思えます。

また、当町での被害は、訪れた2つの地には及びませんが、このテーマに関しての住民の不安は根強いと感じております。

ある人は、喫緊の農業問題は、この集落の鳥獣被害対策を強く望むとか、せっかく、集落の耕作放棄地を増やさないために、やむを得ず離農しなければならなかった人から土地を借り、

お金をかけて改植したのに、熊にほとんど食べられたとか、また、被害を報告しないのはなぜかと聞くと、忙しいときには被害状況を説明したり、対策を取ったりという時間がないと。今回の質問が、そういった声を少しでも減らすことにつながればと思います。

それでは、通告文に沿い、読み上げます。

近年当町で、鳥獣被害の増大が聞かれ、今後ますます対策が求められているところです。将来にわたって農家の所得安定、経営継続意欲の向上を揺るがしかねない問題は、農業のまち南部町にとって、より適切な対策が求められます。

また、大型害鳥獣対策は、町民の大切な生命を守る観点から、人命に関わる緊急時の万全の準備体制が必要と考えます。

一方、人員、財源には限りがあり、時代に合った住民の協力を得ながらの持続可能な対策の方向性が必要だと思えます。

上記の対策の先に、住みよい豊かな南部町を目指し、下記の質問を伺います。

1つ目、鳥獣対策について、①当町における近年における被害状況、傾向と取られている対策。

②現状の課題、③今後の対策方針と考えられている具体的な対策をご答弁お願いいたします。

○議長（工藤正孝君） 答弁を求めます。町長。

（町長 工藤祐直君 登壇）

○町長（工藤祐直君） それでは、沼畑議員にお答えを申し上げます。

まず、当町における近年の被害状況、また傾向など、取られている対策についてのご質問ですが、令和6年8月15日現在における町へ報告のあった今年度の有害鳥獣目撃件数は、ツキノワグマ6件、イノシシ5件ですが、報道されていない目撃件数は、これらの数倍に及ぶものと思われます。

先ほど議員もなかなか目撃、報告をしないと、時間的に取られてしまうからと、私も農家の方々からよく聞きます。ですから今の件数の恐らく数倍にはなるだろうとっておりますし、我々も的確な数値をつかむためには、やはり目撃者の方々が報告をしてもらった件数しか、こういう場では出せないものですから、できるだけ住民の皆さんからも、現状に沿った報告をいただけるように努めていかなければならないと思っております。

傾向として、ツキノワグマの目撃情報が増加しているほか、令和3年度までは、ほとんど目撃情報のなかったイノシシが大幅に増加しております。イノシシについては、報道にもありましたが、先月町内で死んだイノシシが発見され、青森県中央家畜保健衛生所で検査を行った結果、豚熱が検出されたとの報告を受けており、養豚業を営まれている皆様にはご不安な思いをされたことと存じます。また、つい先日も三戸にて、さらに1頭確認がされたという報道もあったと思います。

農作物の食害等による被害状況についてであります。これらも町へ報告のあったものとして、令和3年度以降の被害面積と被害額は、それぞれ令和3年度は1.3ヘクタール、544万円余、令和4年度は1.5ヘクタール、575万円余、令和5年度は1.7ヘクタール、668万円余、令和6年度は、8月15日現在0.4ヘクタール、169万7,000円となっております。その主な内訳としましては、イノシシが4件、87万8,000円、ニホンジカ2件、10万円となっておりますが、町へ報告されていないものや、ハクビシンなどの中型の野生動物による食害、そして、これから迎える収穫期における食害を考慮した場合、昨年を上回る被害額になるものと思われま

す。このように、農作物被害は年々増加の傾向にあり、令和5年3月定例会において、滝田勉議員のご質問にお答え申し上げましたように、令和4年度までは鳥類による被害が多かった状況でありましたが、現在はツキノワグマ、イノシシによる被害が増加傾向にあります。

これらの対策としまして、南部町鳥獣被害防止計画に基づき、5月から10月までの期間、町猟友会及び町職員で構成する鳥獣被害対策実施隊がパトロールの強化や、箱わな、くくりわなの設置による捕獲駆除を実施しております。

また、捕獲駆除に当たっていただいている町猟友会に対して、実施隊の捕獲活動に対する報酬、補助金を交付し支援しているほか、さらに今年度から狩猟免許取得支援事業により、新たに狩猟免許を取得する方や、わな等の免許を追加取得する方を支援し、町猟友会の負担軽減、会員確保に向けた取組を行っております。

これら町独自の取組に加え、7月中旬から10月末までの期間、県南地域9市町村を区域とした、県による広域捕獲を実施しております。町民の皆様への有害鳥獣に対する注意喚起については、ホームページや広報紙でも行っているほか、ツキノワグマの目撃情報があった場合は、防災無線及びほっとスルメールによる注意喚起を行っております。

なお、ツキノワグマの出没により、生命、身体及び財産に係る被害が生じるおそれがある場合や、実際に被害が生じた場合は、警察への出動要請と実施隊の現地確認及びパトロールのほか、必要に応じて捕獲駆除をすることとなりますが、現時点ではそのような状況は発生してお

りません。

次に、現状の課題についてであります。全国的に猟友会、ハンターの高齢化、後継者や人員不足が心配されており、当町におきましても、猟友会の会員数は5年前から45名前後で推移しておりますが、新たに入会する方がいる一方で、高齢化により経験の豊かな方が辞められていく状況でもあり、担い手の育成が課題となっております。

また、野生動物の生息する地域と住宅地などの間に必要な緩衝地帯や、防除地域といわれる農地が農業者の高齢化、担い手不足により荒廃し、野生動物の侵入ルートとなっているケースも見られることから、耕作放棄地の増加も課題として上げられます。

今後の対策方針と考えられている具体的な対策についてであります。対策方針としましては、先ほど課題として申し上げた緩衝地帯や防除地域と呼ばれる区域の必要性について、農業者の方だけではなく、町民の皆様全員に関心を持っていただき、農地やその周辺の雑草や、やぶなどを刈り払うといった環境づくり、侵入ルートを極力減らし、野生動物を寄せつけない取組、そして農作物の収穫残渣を農地へ残さない、食べ残しを野外に廃棄しないなど、野生動物を誘引、執着させない取組について、注意喚起に併せて啓発活動も進めてまいりたいと思います。

また、鳥インフルエンザや豚熱などのウイルスは、野生動物を介して感染する事例もありますので、畜産農家の皆様に対しまして、飼養衛生管理基準の遵守と畜舎の侵入防止対策、消毒の徹底について改めて周知してまいります。

続いて、捕獲駆除、被害防止の具体的な対策としましては、従事者の負担軽減と捕獲効率の向上による被害防止に努めるため、鳥獣被害防止対策交付金を活用した捕獲体制の強化やICTなどの先端技術を活用した捕獲わなの導入も進めてまいります。

また、他県では電気柵の設置が効果を上げているという事例もありますので、町としましては、農業者自身が自衛対応するための電気柵購入費補助を含め、効果の高い支援策を検討しているところであります。

最後に、有害鳥獣の目撃、農作物等への被害につきましては、これからの収穫期に向けて増加が懸念されるところでありますので、早朝や深夜など、時間帯を問わず情報提供していただけるよう、町のホームページに専用のページを開設しております。町民の皆様から提供いただいた情報を基に、より効果的な捕獲、駆除対策に取り組んでまいりたいと考えておりますので、議員各位のまたご支援、ご協力もよろしくをお願いいたします。

○議長（工藤正孝君） 再質問はありませんか。沼畑俊吉君。

○1番（沼畑俊吉君） 町長さんのほうから、大変、滝田議員の質問の後の取組がしっかりされているという方策が出されて実施されているということをおうかがい知れたと思い、住民の一人としても安心しました。

しかしながら、町長さんのご発言にもありましたとおり、住民意識の向上というのを最終的には頼りにしていかなければならない。それで、そこに対してしっかりした情報提供や、情報収集をされるという方針が聞かれたことも、また研修の成果もあったのではないかなと思った次第であります。本当にありがとうございます。

少し具体的に2点をお尋ねしたいんですけれども、先ほど町長さんからありました農業者だけでなく、地域住民の理解をより深めるという点で、南部町では年1回農業講座や様々なセミナーがあったり、集落の総会や農業団体の総会などがあります。それらにおいて、より親身になって行政の職員さんが出向いたり、また行政がそういう場をつくって、啓発活動により力を入れていただけるというご検討が必要ではないでしょうか。

もう一つ、町長さんのほうからありました人身に関わる事態で、警察、関係団体との協力体制をしっかりしているということが聞かれましたけれども、やっぱり役場内において、どこからどういう情報が入って、どこが総括して判断し、そういう人命に関わる事態に体制といいますか、あるのかどうか、簡単でいいので、この2点をお尋ねいたします。

○議長（工藤正孝君） 農林課長。

○農林課長（高森正博君） 沼畑議員のご質問にお答えいたします。

農業講演会のほうですけれども、今年度冬開催する予定でございますけれども、その中で、有害鳥獣の対策についてを講演させていただきたいなというのを、今検討しているところでございます。

また、啓発活動といたしまして、農業団体の総会等で有害鳥獣を寄せつけない対策、収穫残渣、食べ物を野外に廃棄しないことにより餌場をなくし、耕作放棄地の解消、やぶの草刈りによる隠れ場をなくす等の説明を進めて、あと住民の方にも協力をいただきたいなと思っております。

続きまして、人身被害があった場合の対策ですけれども、今月に三戸警察署管内の町村を対

象に、訓練を実施する予定でありまして、そちらのほうに参加する予定です。また、人命に関わる事態が発生したときは、農林課のほう為主となって対策を進めていくことになります。

それと、行政職員のほうが、その啓発活動に出向くような形になりまして、その農業者団体の総会で説明をするような形になるのかなと思っております。

以上です。

○議長（工藤正孝君） ほかに質問はありませんか。沼畑俊吉君。

○1番（沼畑俊吉君） 所管課の課長さんから丁寧なご答弁、ありがとうございます。啓発活動については既に検討されているということなので、自分も時間をつくって参加して、住民の方の意見を聞いていきたいなと思いました。

2点目の人命に関わる体制なんですけれども、今月対策会議等があるということで、そういう連携というのは、やっぱり農林課だけで負えない。各課で情報を共有して、しっかり町民の生命、財産を守るというのに当たっていただける体制だというのが確認できたので、大変ありがたかったと思います。

もう一つ、質問の中に申しました、やはり行政だけではこの問題は解決できない。住民だけでは解決できない。住民が協力しただけでは解決できない。やっぱり三位一体となって解決していくという、鳥獣被害に関わることだけではない地域の課題解決方法には、やはり今後の財政、人員の状況、将来を考えると、やっぱり協力体制が、しっかり南部町で協力していかなければならないんじゃないかなと思っております。もうそういう方針の中で答弁がありました耕作放棄地、これは鳥獣被害に関する耕作放棄地対策ですね。

もう一つ、食物残渣による、山に食べ物を捨てないという啓発につながる対策をどうやっていくのかというのを、少しお聞かせ願いたいんですけれども、耕作放棄地に関しては自分も経験があるんですけれども、傾斜地に入って十何人かで刈り払いをしたときは、本当に暑さと、天候も厳しかったんですけれども、これはもう人の手では負えないなというような現場もありました。食物残渣に関しても、身に覚えがあることも実際は、各々農家としてはあると思います。それをどうするのかというのは、やはり住民だけでは解決できない方策があるかと思いません。

そういう、今言った耕作放棄地だったり、食物残渣の悩みというのを、いま一度一層、各交付金が付いたそれぞれの対策は、各課で取り組まれているとは思いますが、より住民目線の声

を議員としても、もちろん一人として届けなければならないし、行政側としても、より一層南部町に合った対策が求められると考えております。

こちら2点の私の見解に対して、ご意見がございましたら、ご答弁をお願いします。

○議長（工藤正孝君） 町長。

○町長（工藤祐直君） 沼畑議員さんには、現状、これからも非常に厳しくなる、そういう中で対策をやっぱりしっかりしていかなければならないということのご質問だと思っております。

そうした中で、今議員もおっしゃったように、行政だけでは、これはやはり解決する問題じゃありませんし、特に災害と私は同じであると思っております。災害が起きた場合、行政だけに頼られても、行政自体がストップしてしまう状況は、これからもあり得るわけですので、そういう中で、住民ができるもの、そういうものをしっかりとお互いがやっていくことが大事だと思っておりますので、この鳥獣被害についても、例えば今議員がおっしゃったように収穫残渣、こういうのは、やはり行政でそれを取り除くと、こういう部分には無理があるわけでして、そうするとやはり農家の方々が注意してもらわなきゃいけない。

そしてまた、侵入ルート、これにおいても入ってこないようにするためというのは、やはり農家、所有者の方々のご協力がなければ、これは解決できないだろうと思っておりますので、やはり行政がやる部分、そしてまた住民の皆さんからご協力していただく部分、これがそろって減らすことにつながっていくだろうと思っておりますので、そのことをいかに住民の皆さんに理解してもらえるかということを我々は発信しながら、行政として支援策はどういうふうなのができるかというふうなものをもとに考えて、これはいく必要があると思っておりますので、だんだん毎年毎年大きな課題になってきました。

これは当町だけではなく、そういうことから、9市町村での地域でもって調査もしておりますので、当町を含めながら、山には柵はないわけですので、いつ近くからうちのほうに入ってくるかも分かりません。そういう情報も、やはり近隣の町村ともしていかなければならないなと思っておりますので、よろしくご支援をお願いしたいと思っております。

○議長（工藤正孝君） これで、沼畑俊吉君の質問を終わります。

3番、小橋昭裕君の質問を許します。小橋昭裕君。

(3番 小橋昭裕君 登壇)

○3番(小橋昭裕君) それでは、今定例会に通告しておりました、次の件について質問いたします。

まず初めに、地方自治法についてですが、地方自治法には、地方公共団体の組織と運営のルールについて定められており、地方公共団体にとって非常に重要な法律であると認識しております。

そこで、地方自治法に規定してある専決処分について、3点ほど質問したいと思います。

まず1つ目の質問ですが、令和6年第124回定例会に提出された報告第10号は、地方自治法第179条第1項の規定により、条例の改正に特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなかったため専決処分したものであるとして報告されたものであるが、この条例の改正は、令和6年5月17日に専決処分され、改正された条例の施行日である令和6年5月27日までの期間及び、この期間内である令和6年5月24日に、南部町議会議員全員協議会が開催されていることを考慮すると、議会を招集する時間的余裕がなかったとはいえ、違法であり議会軽視、すなわち住民軽視であると思うが、町長の見解を伺う。

2つ目の質問ですが、平成30年第80回定例会に提出された報告第4号は、地方自治法第179条第1項の規定により、平成30年3月31日に専決処分した条例改正を報告したものであるが、地方自治法第179条第3項には、専決処分したのものについては、次の会議において、これを議会に報告し、その承認を求めなければならないと規定されているため、この報告は、平成30年第79回臨時会で報告されなければならないものであったが、第80回定例会で報告されており、地方自治法第179条第3項の規定に違反しているが、このことについて、町長の見解を伺う。

3つ目の質問ですが、平成26年第57回定例会に提出された報告第4号は、地方自治法第179条第1項の規定により、条例の改正に特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなかったため、平成26年3月28日に専決処分したものであるとして報告されたものであるが、平成26年3月28日には、第56回臨時会が開かれているが、専決処分の理由、議会を招集する時間的余裕がなかったとはどういうことなのか。もし虚偽による専決処分であれば、議会及び住民を侮辱した行為であり、議会軽視、すなわち住民軽視であると思うが、町長の見解を伺います。

次に、令和6年1月、最高裁判所の棄却により、南部町の敗訴が確定した件についてであります。南部町の敗訴が確定後、町長は記者会見等において、敗訴に納得していないと言っていました。敗訴確定後半年以上経過し、敗訴に納得できたのか伺います。

以上です。

○議長（工藤正孝君） 答弁を求めます。町長。

（町長 工藤祐直君 登壇）

○町長（工藤祐直君） それでは、お答え申し上げます。

まず、令和6年第124回定例会に提出された報告第10号の専決処分は、議会を招集する時間的余裕がなかったとはいえ、違法であり、議会軽視、すなわち住民軽視であると思うが、見解を問うという質問であります。

当該報告第10号は、南部町個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について専決処分したものを承認いただきたく報告したところでありましたが、第124回定例会の審議において、議員から令和6年5月17日の専決処分日から、施行日である5月27日までに10日間の猶予があるのだから、議会を招集するべきではなかったかのご指摘をいただいたことに対し、今後このように期間がある場合は、議会とも相談し、招集の可否について検討させていただき旨お答えし、議員の皆様からご理解を賜り、当該報告についてご承認をいただいたものであります。

今回のご質問の後段で議会軽視、すなわち住民軽視であると思うとのご指摘ではありますが、施行日前の5月24日に開催した議員全員協議会においてご説明申し上げていること、また、条例改正の内容は、条例内で定めている用語の定義を、改正後の法律に即したものに改めるものであり、議員の皆様は政策的な判断をいただくものではないこと、また町民の皆様は不利益となるようなことは全くないことを鑑みると、議員軽視、すなわち住民軽視であるのご指摘は当たらないものと考えております。

次に、平成30年第80回定例会に提出された報告第4号の専決処分は、平成30年第79回臨時会で報告されなければならないものであったが、第80回定例会で報告されており、地方自治法第179条第3項の規定に違反しているが、町長の見解を伺うという質問でございます。

当該報告第4号は、南部町町税条例等の一部を改正する条例の制定について専決処分したものを第80回定例会において報告し、ご承認をいただいたものであります。

ご質問の地方自治法第179条第3項の規定では、専決処分の措置については、普通地方公共団体の長は、次の会議においてこれを議会に報告し、その承認を求めなければならないとされており、例年、町税条例を含む税に関する条例は、税制改正等に伴い4月から施行するた

めに、3月末に専決処分による改正及び交付をし、通常は次の会議となる6月定例会に報告するという認識が常態化していたことが事実でありました。

そのため、こうした認識から、次の議会である副町長の選任を事件とする4月の第79回臨時会での報告を失念し、6月定例会となる第80回定例会で報告したものであります。この認識誤りについてはその後改め、令和2年4月の第93回臨時会及び令和5年4月の第116回臨時会において、3月に専決された条例を報告し、ご承認をいただいているところであります。

なお、長の権限である専決処分は、地方自治法第179条第1項に規定され、行政法の解説によると、長の専決処分については、議会が議決したものと同一効力があり、その効力は事後の手續に欠けることがあっても、影響を受けることはありませんと示されておりますが、本職をはじめ職員一同、法令を遵守し、適切な行政運営を進めてまいりたいと思います。

次に、平成26年第57回定例会に提出された報告第4号の専決処分は、議会を招集する時間的余裕がなかったとされているが、虚偽による専決処分であれば、議会及び住民を侮辱した行為であり、議会軽視、住民軽視であると思うが、町長の見解を伺うという質問でございます。

虚偽は全くございませんので、議会の軽視、住民軽視に当たるとは考えておりません。

次に、南部町の敗訴が確定後、町長は記者会見において敗訴に納得していないと言っておりましたが、敗訴確定後、半年以上が経過した今現在、敗訴に納得できたかという問いでございますけれども、今までも何遍も答弁してまいりましたとおりでございます。

○議長（工藤正孝君） 再質問はありますか。小橋昭裕君。

○3番（小橋昭裕君） 今回、地方自治法について質問した専決処分とその報告については、地方自治法に抵触するため違反しないようにと私が職員時代に指摘し、是正を求めたという経緯があります。しかしながら、その指摘は受け入れてもらえず、そればかりか、指摘した翌年には、私や私の家族の同意を得ず、私は岩手県山田町への派遣を強制的に命じられた経緯もあります。当時から全国的に問題視されているパワーハラスメントを私が受けたんだということをそのとき悟り、やるせなく悲しい気持ちになったことを昨日のここのように覚えています。

さて、町長の答弁の中に、政策的な判断をもらうものではないという言葉がありましたが、地方自治法第96条では、地方公共団体の意思決定のうち、重要なものについては議会の議決によることとされており、条例の改正もこの中に含まれております。

また、専決処分の効力は、事後の手續に欠けることがあっても、その効力に影響はないとい

う答弁もありましたが、専決処分の報告については、議会の承認を得られなくても、その効力に影響はないとされております。

そこで、過去に国のほうで、行財政検討会議が開かれまして、専決処分については、論点として取り上げられることになり、地方自治法抜本改正についての考え方に盛り込まれたという経緯があります。

これを受け、地方自治法を研究している教授によりますと、この考え方を公表したことによって、地方自治体の専決処分は、例年行われる地方税法の改正による専決処分、それと災害時の専決処分ですね、予算の、それしかできなくなるのではないかという意見もあります。

また、ある参考書によれば、地方公共団体の長による専決処分が処分事由に該当することとなるか否かの認定は、いわゆる自由裁量ではなく法規裁量であり、客観的に該当するものでなければならないと解されていることから、長の認定が客観的に誤っていることが明らかな場合は、当該処分は違法な処分となるとされております。

これらのことを踏まえまして、1つ目の質問については、専決処分した日から施行日までの間に臨時会を開催することが可能であったことから、議会を招集する時間的余裕がなかったとは言えない。

また、過去の裁判例から、臨時議会を招集せず、議員全員協議会を開催し説明をした専決処分について、議会を招集する暇がない場合とは極めて限定され、議員の参集を求めて議決を得る時間的余裕がなく、しかもその執行の時期を失するような一層の急施を必要とする緊急事態が発生したことが客観的に認められる場合であり、臨時議会を招集せず議員全員協議会を開催しているのであるから、臨時議会を招集しなかった合理的理由を見いだすことができず、要件を欠いていたという裁判例もあります。つまり、1つ目の質問についても私は違法だと思っています。

2つ目の質問については、議会への報告が遅れており、明らかに違法であると思っています。

また、3つ目の質問について、このときの条例改正ですけれども、平成25年6月の地方税法施行令と、地方税法施行規則の一部改正により、条例改正の必要が生じたものです。つまり平成25年6月から26年3月までは9か月もあり、議会を招集する時間的余裕がなかったとはいえ、違法であります。

以上のことから、この専決処分、また専決処分の報告については、議会を軽視したものであり、住民軽視であると思っております。

このように法令を遵守できない状態が常態化している当町ですが、法学部出身である町長は、地方自治法などの法律に関しまして、どの程度遵守する意識があるのか、伺いたいと思います。

また、これまで地方自治法に違反したままで行政を運営してきた責任についても伺いたいと思います。

○議長（工藤正孝君） 小橋昭裕君に申し上げます。再質問の際の山田町の派遣の話は質問外になりますので、注意いたします。

答弁はありますか。町長。

○町長（工藤祐直君） まず、違法という部分については、次の議会に提出しなければならないという部分については、次の次に行っておりますので、ここについては、私どもも反省しなければならないと。職員にも、専決処分で済ませるようなことはしないでくれということは会議でも言っております。

ただ、やはりどうしても行政の中には、専決処分というのは、これは我々の南部町だけでなく、どこの自治体でもこれはあるわけですし、あるから遅れて次にしても、次の次にしてもいいんだということを言っているではありません。

そういう中で、職員も十分注意を払って行っているんですけども、専決処分というのは、正直、職員、課から来ない限り、何が専決処分になるかというのは、私のところにも来て初めて分かるわけでありまして、ただ、そういう中で、後で総務課長にも答弁させますけれども、その内容、それと、しっかりと全員協議会でも説明をその後し、そして議会でも承認を得て来ているわけです。全く何も報告も何もしていない、そういうことではない。ただ、1回、遅れたと、これは今後ただ十分注意はしていかなければならないものだと思っております。

議員の皆さんも、この1点目の令和6年の124回等々が、どういう条例改正だったのか、ちょっと総務課長からもこの後聞いて、自分の利益にもならない、また政策的な判断にもならない、そういう内容というものでもあった。いわゆる国の法律とともに必然的に変えなければならない条例改正と、こういう内容でもありました。そのことをちょっと課長から答弁をさせていただきたいと思います。

ただ、重要、重要でないということに関しては関係なく、これはきちっと次回の、専決処分した場合は議会に諮るということが前提でありますので、そこはしっかりと職員ともども今後

ないようにしていきたいと。ただ専決処分というのは今後もそれは当然回ってくる。ゼロになることはないというふうに思っております。

それと今質問もいただきましたので、何回か議会軽視、また虚偽の報告という、議長にここをお願いします。反問権になるだろうと思っておりますので、虚偽の報告という、虚偽という言葉は何回か使っています。何の根拠があって虚偽なのか、虚偽するほどそういう内容なのか、我々が全くない。そういう発言、言葉をどういうことから発しているのか、その根拠は何なのか、ぜひこれ次の答弁にも関わってきますので、これをぜひお答えをいただきたいなと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（工藤正孝君） 総務課長。

○総務課長（西館昌男君） 6月定例会におきまして小橋議員からご指摘を受けまして、今後このような期間がある場合は専決処分によらずに、議会開会について議員の皆様方と協議し、検討してまいりたいとお答え申し上げました。

それで、条例の改正に特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなかった。地方自治法179条1項所定の要件を満たしていないのではないかと、そこはその手続が同条項に反するという意味では、一時的に違法な状態であったとは考えられます。

しかしながら、地方自治法179条1項の所定の要件を欠く瑕疵があっても、後に議会の承認があれば、右瑕疵は治癒されるという名古屋高裁の判例がございますので、6月7日の本会議においてご承認をいただいた時点で、違法な状態は解消されたものと考えております。しかしながら、こうした事項を反省し、今後改めてまいりたいと考えております。

それから、2つ目のご質問の報告の機会を失念したということでございますけれども、こちらも地方自治法179条第3項に反するという意味では、一時的に違法な状態であったと考えられます。これについては、先ほど町長から答弁申し上げましたとおり、認識に誤りがあった点を改め、令和2年4月、令和5年4月の臨時会においては、3月に専決処分した条例を報告申し上げ、ご承認をいただいておりますように、今後も法令を遵守し、適切な行政運営を進めてまいります。

それから、3つ目の平成25年6月、平成26年3月の関係の条例改正については、税務課長のほうから答弁申し上げたいと思っております。よろしくをお願いします。

○議長（工藤正孝君） 税務課長。

○税務課参事（松原浩紀君） それでは、私のほうから3番目の件についてご説明させていただきます。

10年前以上のことになりますので、推測でございますが、先ほど小橋議員がおっしゃったとおり、この公布は平成25年6月12日にされておりますので、それまでの期間に改正する機会があったのではないかとということでございましたが、こちらの施行期日は、原則平成28年1月1日となっていたため、これに間に合うように改正を予定していたものが、平成26年3月30日に公布された次の改正条項との整合性を取る必要が生じたため、この公布日前の平成26年3月28日に専決処分したものと考えられます。

私からは以上です。

○議長（工藤正孝君） 企画財政課長。

○企画財政課長（菅谷信也君） 先ほどの質問の中にありました政策的判断をいただかないような内容であったということについてでございますが、先般の6月議会で提出させていただきました南部町個人番号の利用に関する条例の一部改正につきましては、法での表現が例えばありますが、法別表第2の第2欄に掲げる事務という表現が、特定個人番号利用事務という表現に変更になるといったような内容でございましたので、言葉の表現が変わるというものでございましたので、政策的判断には当たらないというふうに考えたものでございます。

以上でございます。

○議長（工藤正孝君） ただいま町長から小橋議員に対する虚偽についての趣旨を確認したいという申出があり、この反問を許しました。小橋議員の答弁を求めます。小橋昭裕君。

○3番（小橋昭裕君） それでは、町長からの反問ということで、虚偽と言ったことについてご説明申し上げます。

今回、専決処分の理由は、議会を開く時間的余裕がなかったということで専決処分したと、これを報告していますが、明らかに議会を開く時間的余裕はあったんですよ。それなのに余裕がなかったという、嘘をついているということで私は虚偽という表現をしました。

以上です。

○議長（工藤正孝君） 反問に対する回答がなされましたが、これでよろしいでしょうか。町長。

○町長（工藤祐直君） そうすると時間的な余裕がなかったという文言に対しての虚偽という発言ということでよろしいでしょうか。

○議長（工藤正孝君） ほかに質問はありませんか。小橋昭裕君。

○3番（小橋昭裕君） 町長から答弁をいただきました。私は、町長と同じく町民の皆様から選ばれてここにいます。議員の皆さんも使命感と責任感を持って日頃から政治を行っていると思いますが、町民の代表である我々がこの法律違反の問題をうやむやにしてはいけないと思っています。この問題について私は厳しく追及させていただきますし、町長には真剣に向き合っ
て、真剣な回答を求めたいと思います。

それで質問ですが、地方自治法を遵守しないまま、これまで行政運営を進めてきた町長の責任について再度伺いたいと思います。

○議長（工藤正孝君） 町長。

○町長（工藤祐直君） いろいろ我々も地方自治法、法律にのっとってやっているわけであり
ます。そういう中においては、人間がやっておりますので、間違いとかそういう部分もあると思
います。それをいかにして再度繰り返してやらないかということが大事なことであると思っ
ておりますので、今回の専決処分等々遅れた部分というのは、今後職員とも十分気をつけてい
かなければなりませんし、そういう部分でしっかりと改革して、間違いのないようにやってい
くことが、私のまた今まだ求められている部分でやっておかなければならないと思ってお
ります。

○議長（工藤正孝君） これで、小橋昭裕君の質問を終わります。

ここで11時20分まで休憩します。

(午前11時05分)

○議長（工藤正孝君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午前11時20分)

○議長（工藤正孝君） 一般質問を続けます。

4番、工藤愛君の質問を許します。工藤愛君。

(4番 工藤愛君 登壇)

○4番（工藤愛君） 本定例会において質問の機会をいただきまして誠にありがとうございます。私は今回、中学校における教育環境について伺います。

令和5年度に実施された町立学校の統廃合により、現在、当町では合併前の旧町村に小学校と中学校の各1校が配置されています。統合後のアンケートでは、人間関係や学習活動の広がりを評価する声が多く、総じて統合は成功したものと考えています。町民への説明や閉校、開校に伴う多くの実務を担われた役場担当課の皆様、現場の先生方に心より敬意と感謝を申し上げます。

現在のように、各地区に小中学校があることは、子供にとっても進学の見通しが持ちやすく、通学の便においても望ましいことだと思います。しかし、生徒数の減少は、中学校の選択にも影響を与えているのが現状です。

小学校のスポーツ少年団や習い事などの放課後活動では、子供たちは既に地区を越えて活動しています。地域の大人の責務は、子供たちが望む活動を、住んでいる場所や家族の送迎体制、経済的状况によらず、自由に選択できるような環境を整備することだと考えます。私は、中学校の統合についても、速やかに議論すべき時期にあると考え、通告した質問をいたします。

町内中学校では、少子化に伴う生徒数の減少が続いています。中学校在学中や卒業時に個々の生徒に合った多様な選択肢を実現するためには、中学校の統合が検討段階に入っているものと考えます。次代を担う子供たちに地域に根差した最善の教育環境を整備するため、次のことを伺います。

- 1 点目、過去5年間の生徒数の推移と今後の見通しは。
- 2 点目、過去5年間の学区外通学、私立中学校入学、転出者、転入者の推移は。
- 3 点目、現時点での統合によるメリットとデメリットはどのようなものでしょうか。
- 4 点目、上記を踏まえた町の見解と対応を伺います。

○議長（工藤正孝君） 答弁を求めます。教育長。

（教育長 高橋力也君 登壇）

○教育長（高橋力也君） 工藤愛議員にお答え申し上げます。

まず、過去5年間の生徒数の推移と今後の見通しについてであります。令和2年度の中学生の生徒数は383人、3年度は374人、4年度は341人、5年度は327人、そして今年度は317人であり、この5年間で66人、率にして17.2%減少しております。

また、今後の生徒数の見通しについてであります。現在の小中学生及び幼児数から算出しますと、令和7年度は299人、8年度は310人、9年度は300人、10年後の令和16年度には240人で、本年度と比較して77人、率にして24.3%減少する見込みであります。

次に、過去5年間の区域外通学者数、私立中学校入学者数、転入者、転出者の推移についてであります。まず、区域外通学者数として本町中学生が町外の中学校に通う人数は、令和2年度は7人、3年度は6人、4年度は7人、5年度は10人、今年度は8人であり、後でお答えする私立中学校への進学者を除いた人数であります。

また、町外の生徒が当町の中学校に通う人数は、令和2年度は7人、3年度は4人、4年度は4人、5年度は2人、今年度も2人であります。

次に、町内における本来の通学区域から別の通学区域に通う通学区域外通学者は、令和2年度は6人、3年度は11人、4年度は10人、5年度は12人、今年度は10人であります。

次に、私立中学校入学者数であります。令和2年度は3人、3年度は3人、4年度は4人、5年度は3人、今年度は7人であります。

次に、転出者、転入者の推移については、令和2年度は転出転入とも1人、3年度は転出転入とも0、4年度は転出転入とも1人、5年度は転出が0、転入が2人、今年度は転出転入とも0であります。

次に、現時点での統合によるメリットとデメリットについてであります。メリットから申し上げますと、先ほどありましたように、本年1月から2月にかけて実施した学校統合後のア

ンケートによりますと、多くの保護者及び児童生徒から、統合による新しい友人との出会いや運動会、体育祭、学習発表会、文化祭など、諸活動における統合のスケールメリットを実感したとの回答をいただいております。

また、統合により一定規模の生徒数を確保することから、社会性やコミュニケーション能力の向上、部活動の選択肢の拡大など、生徒の資質や特性を伸ばす可能性が広がること。学校運営面では、教職員数は学級数を基に算出されることから、学級数が多いほど教職員を多数配置していただけることなどが上げられます。

デメリットに関しては、学校規模の変化による生徒の戸惑いや、通学区域の拡大による通学距離や時間の増加が、生徒及び保護者の負担になるものと思っております。

また、学校は教育施設であるだけでなく、地域コミュニティの中心としての性格を有することから、地域の精神的支えの喪失が懸念されるものであります。

次に、これらを踏まえ、町の見解と対応についてであります。学校は集団の中で多様な考えに触れ、協力し合い、認め合い、切磋琢磨することを通じて、生徒一人一人の資質と能力を伸ばしていく場であることから、一定規模の集団を確保する必要があると考えております。

また、当町の現状では、学校によっては小学校から中学校までの9年間にわたり、クラス替えができないことから、人間関係の固定化や序列化も懸念されますので、各学年でクラス替えができることが望ましいと考えております。

生徒数の現状と今後の見通し、また、これまで申し上げた教育的観点から、中学校統合の検討を早い段階で開始することが必要であると考えており、本年7月25日の議員全員協議会でもご説明させていただいたとおり、認定こども園や幼稚園に通う幼児の保護者及び小中学生の保護者に対し、中学校統合のアンケートを本日9月2日から13日までの2週間実施しているところであります。工藤愛議員のお宅にも子供さんを通してアンケートが届いているかと思っておりますので、ご協力方、よろしくお願いいたします。

アンケートの結果につきましては、広報なんぶちょうに掲載するほか、各地へ赴いてアンケート結果の説明会を実施し、町民の皆様のご意見を伺った上で、今後の方向性を検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（工藤正孝君） 再質問はありませんか。工藤愛君。

○4番（工藤愛君） ご答弁ありがとうございました。同じ認識を持って中学校においても最善の環境を整えていきたいという気持ちで取り組んでいるということがうかがえまして、非常に安心しております。

しかしながら、配布されたアンケートを私も既に拝見しておりまして、今後の生徒数なんかを見ますと学年によっては非常に少ない学年もございまして、その子たちが今答弁にもあったように、友人関係の固定化、序列化が起こって、今問題になっている不登校等も非常に多くなっておりますので、そちらの問題に結びついていかないのかなということを非常に懸念している次第であります。

再質問ですけれども、現在町内には3校の中学校がございまして、こちらは人数の少ない学校から先行して1校ずつ統合していく、全部一気にではなくて、先行して統合していく可能性について伺いたします。そういう可能性があるのかどうか。

また、もう一点、最も速やかに統合するとしたら、何年ぐらい準備にかかるものなのかというのを伺いたします。

○議長（工藤正孝君） 教育長。

○教育長（高橋力也君） ただいまのご質問にお答えいたします。

1点目ですけれども、小さい学校から順次統合してはどうかというご意見ですけれども、そうしますと、最終的には1校になりますけれども、2回統合することになります。そうすれば、今考えているのは、やはり新しい校歌とか、そういうものをつくらなければならないと思いますので、最初こっちがくっついて校歌をつくらなくて、前の校歌にすると吸収合併になってしまう。やっぱり統合する場合は対等に統合したほうが、お互いの児童生徒、それから地域の方々もそうだと思うんですね。吸収されるというのはやはりいい感じはしないと思います。

ですから、アンケートにも選択肢がありますけれども、一気に1校にするか、あるいは2校ずつするか、そのアンケートの結果を見てでなければ分からないですけれども、小学校の場合と一緒に1校にしたほうが、より各学校の伝統を持ち込みやすいと考えておりますので、アンケート結果にもよりますけれども、1校のほうがよいのではないかなと考えております。

何年かかるか、それはちょっとまだ分かりません。ただし、小学校は統合が決まって2年かかりました。ところが中学校ですと制服とか持ち物とか、それからそういうものを生徒にも希望を聞きたいなと思っておりますので、小学校の統合よりはちょっと長くなるのではないかな

という考えを持っております。

以上でございます。

○議長（工藤正孝君） ほかに質問はありますか。工藤愛君。

○4番（工藤愛君） ご答弁ありがとうございます。今教育長からお話がありましたように、確かに統合ではなくて、吸収合併という形を取るのには避けたいと、そういったご意見も本当によく分かります。地元で育った同年代の方の話を聞くと、自分が卒業した学校が今はもう一つもないんだと。高校まで含めて一つもないんだというふうにおっしゃる方もいらっしゃって、そのすごく寂しい気持ちというのは、もう計り知れないなというふうに考えてございます。

しかしながら、これから教育を受けていく子供たちにとっては、非常にこの少人数の環境というのが、高校進学、またその上の社会に出ていく段階で、非常に大きなハードルになっているというのも認識をしていただきたいなというふうに思っております。高校になって不登校になる生徒、また高校の次に進学しても、退学して家に戻ってくるという子供たち、これが私も数字では把握していないんですけれども、耳に入ってくるのが1人や2人ではないという現状、皆さんもご存じかと思しますので、どうか速やかに2段階で統合していくということも検討の一つに入れていただきたいというふうにお伝えいたします。

再質問ですけれども、保護者の方にはアンケートをお配りしていますけれども、当事者である子供たちに対してアンケートや意見を聞くような機会というのは設ける考えがあるのかというのが1点。

それから、地域の方への説明会も開催するということでしたけれども、それはアンケート回収後、今年度中に開かれるものなのかどうか、それをもう一回お伺いいたします。

○議長（工藤正孝君） 学務課長。

○学務課長（北上隆広君） それでは、ただいまのご質問にお答え申し上げます。

まず1点目でございます。子供たちの統合に関することにつきましては、今現段階ではまだ統合する、しないという方針も出ておりませんので、まだ検討はしていないというところが現状でございます。

続きまして、地域の皆様へのご説明で申し上げますと、アンケートを集計しまして、町の考

えと保護者の皆様のお考え、それらを踏まえた上で、こういった方向性が示せるかといったところを考えると、地域の皆様へご説明申し上げ、また地域の皆様からこういったご意見があるかといったところを、議論してまいりたいと考えておりました、できましたら今年度中には完結してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（工藤正孝君） これで工藤愛君の質問を終わります。

◎散会の宣告

○議長（工藤正孝君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

なお、9月6日は午前10時から本会議を再開します。

本日はこれで散会します。

（午前11時39分）

令和6年9月6日（金曜日）

第126回南部町議会定例会会議録

（第3号）

第126回南部町議会定例会

議事日程（第3号）

令和6年9月6日（金）午前10時開議

- 第 1 議案第 63号 令和5年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について
- 第 2 議案第 64号 令和5年度南部町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 3 議案第 65号 令和5年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 4 議案第 66号 令和5年度南部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 5 議案第 67号 令和5年度南部町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 6 議案第 68号 令和5年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 7 議案第 69号 令和5年度南部町病院事業会計利益剰余金処分の議決及び決算認定について
- 第 8 議案第 70号 令和5年度南部町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 9 議案第 71号 令和5年度南部町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 10 議案第 72号 令和5年度南部町営地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 11 議案第 73号 令和5年度南部町大字上名久井財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 12 議案第 74号 令和5年度南部町大字平財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 13 議案第 75号 令和5年度南部町大字平字下平外14字財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 14 議案第 76号 令和5年度南部町大字下名久井字田端外17字財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 15 議案第 77号 令和5年度南部町大平財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 16 議案第 78号 令和5年度南部町名久井岳財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 17 議案第 79号 南部町国民健康保険条例及び南部町個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 18 議案第 80号 南部町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 第 19 議案第 81号 青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
第 20 議案第 82号 令和6年度南部町一般会計補正予算（第4号）
第 21 議案第 83号 令和6年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）
第 22 議案第 84号 令和6年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
第 23 議案第 85号 令和6年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）
第 24 議案第 86号 令和6年度南部町後期高齢者医療特別計補正予算（第1号）
第 25 議案第 87号 令和6年度南部町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
第 26 常任委員会報告
第 27 委員会の閉会中の継続調査の件

追加第1 議案第 88号 工事請負契約の締結について（旧杉沢中学校解体工事）

追加第2 議案第 89号 人権擁護委員の候補者の推薦について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（16名）

1番	沼 畑 俊 吉 君	2番	夏 堀 剛 充 君
3番	小 橋 昭 裕 君	4番	工 藤 愛 君
5番	松 本 啓 吾 君	6番	久 保 利 樹 君
7番	坂 本 典 男 君	8番	滝 田 勉 君
9番	西 野 耕太郎 君	10番	山 田 賢 司 君
11番	八木田 憲 司 君	12番	中 舘 文 雄 君
13番	工 藤 正 孝 君	14番	根 市 勲 君
15番	馬 場 又 彦 君	16番	川守田 稔 君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長 工 藤 祐 直 君 副 町 長 佐々木 俊 昭 君

総務課参事	西 舘 昌 男 君	企画財政課長	菅 谷 信 也 君
交流推進課長	下井田 耕 一 君	税務課参事	松 原 浩 紀 君
住民生活課長	夏 堀 勝 徳 君	福祉介護課長	戸 室 正 樹 君
健康こども課長	夏 坂 和 徳 君	農 林 課 長	高 森 正 博 君
商工観光課長	川 村 一 城 君	建 設 課 長	石 橋 一 史 君
会計管理者	宮 崎 典 子 君	医療センター参事	岩 間 雅 之 君
市 場 長	藤 原 正 利 君	教 育 長	高 橋 力 也 君
学 務 課 長	北 上 隆 広 君	社会教育課参事	柳久保 正 弘 君
農業委員会事務局長	野 月 正 治 君		

職務のため出席した者の職氏名

事務局 長	岩 木 育 子	主	查	佐々木 慶
主 査	小 泉 清 夏			

◎開議の宣告

○議長（工藤正孝君） これより第126回南部町議会定例会を再開します。

本日の会議を開きます。

議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

（午前10時00分）

◎議案第63号から議案第78号までの委員会報告、討論、採決

○議長（工藤正孝君） 日程第1「議案第63号」から日程第16「議案第78号」までの令和5年度南部町各会計歳入歳出決算認定についての議案16件を、会議規則第37条の規定により一括議題とします。

本案については、決算特別委員会における審査が終了しておりますので、ここで委員長の報告を求めます。決算特別委員長、滝田勉君。

（決算特別委員会委員長 滝田勉君 登壇）

○決算特別委員会委員長（滝田勉君） おはようございます。

決算特別委員会の審査結果をご報告いたします。

8月30日の本会議において本委員会に審査を付託されました「議案第63号」から「議案第78号」までの令和5年度南部町各会計決算認定16件につきましては、9月4日及び5日に本委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

審査の結果ですが、「議案第63号」から「議案第78号」までの議案16件は、全会一致により全て原案のとおり認定することに決定しました。

以上で、決算特別委員会の報告を終わります。

○議長（工藤正孝君） 決算特別委員長の報告が終わりました。

委員長報告に対する質疑は省略し、これより討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 討論なしと認めます。これで、討論を終わります。

議案第63号「令和5年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について」から、議案第78号「令和5年度南部町名久井岳財産区特別会計歳入歳出決算認定について」までの議案16件を一括して採決します。

本案に対する委員長の報告は、認定であります。本案は、委員長報告のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 異議なしと認めます。

「議案第63号」から「議案第78号」までの議案16件は原案のとおり認定されました。

.....

◎議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(工藤正孝君) 日程第17、議案第79号「南部町国民健康保険条例及び南部町個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。健康こども課長。

○健康こども課長(夏坂和徳君) 議案説明資料の4ページをお開き願います。

議案第79号「南部町国民健康保険条例及び南部町個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について」ご説明いたします。

趣旨でございますが、「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」が令和6年12月2日に施行され、健康保険の被保険者証が原則廃止されることに伴い、関係する条例の改正を行うものです。

改正内容ですが、健康保険の被保険者証が原則廃止され、マイナンバーカードに一体化されることに伴い、次の条例の関連規定を改めるものです。

第1条、南部町国民健康保険条例の一部改正では、被保険者証が廃止されることから、罰則

規定にあたる当該被保険者証の返還に応じない場合の規定を削るもの。

第2条、南部町個人番号の利用に関する条例の一部改正では、乳幼児医療費給付、ひとり親家庭等医療費給付、子ども医療費給付及び重度心身障害者医療費助成の支給に関し、当該給付事務を行うにあたり、情報提供ネットワークを利用した個人番号連携を行う必要があることから、本条例別表第2の各事務の特定個人情報に「医療保険給付関係情報」を加えるものです。

施行日は令和6年12月2日。ただし、第2条の規定につきましては、公布の日とするものです。

説明資料の5ページの方には、マイナ保険証を基本とする仕組みへの移行、経過措置等についての参考資料、6ページには、マイナ保険証のフロー図を掲載しております。

議案第79号の説明は以上です。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第79号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。

議案第79号は原案のとおり可決されました。

◎議案第80号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（工藤正孝君） 日程第18、議案第80号「南部町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部

を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。総務課長。

○総務課参事（西館昌男君） 議案説明資料の7ページをお開き願います。

議案第80号「南部町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」ご説明いたします。

趣旨であります。災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項を調査審議することを目的とする機関を設置するため、所要の改正を行うものであります。

内容であります。災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に当たり、自然災害に起因する死亡であるか否かの判定が困難な場合、例えば災害による負傷の悪化や避難生活等における身体的負担による疾患により死亡した場合など、災害の直撃以外のいわゆる災害関連死の疑いのある事案等について、その判定に公正を期すため、町長の諮問に応じて調査審議を行っていただく機関として、医師や弁護士などの有識者で構成する南部町災害弔慰金等支給審査委員会を新たに設置するための規定を加えるものであります。

施行日は公布の日であります。

以上で議案第80号の説明を終わらせていただきます。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第80号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。

議案第80号は原案のとおり可決されました。

◎議案第81号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（工藤正孝君） 日程第19、議案第81号「青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について」を議題とします。

本案について説明を求めます。健康こども課長。

○健康こども課長（夏坂和徳君） 説明資料の8ページをお開き願います。

議案第81号「青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について」ご説明申し上げます。

趣旨でございますが、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」の一部が令和6年12月2日に施行され、被保険者証が原則廃止されることに伴い、青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更することについて、地方自治法第291条の3第1項の規定に基づき、協議するものです。

改正内容ですが、青森県後期高齢者医療広域連合規約第4条の広域連合が処理する事務に関し、別表第1に定める関係市町村において行う事務について、後期高齢者医療制度の被保険者証が原則廃止されることから、「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等」に改めるものです。

施行日は令和6年12月2日。

議案第81号の説明は以上でございます。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第81号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 異議なしと認めます。

議案第81号は原案のとおり可決されました。

◎議案第82号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(工藤正孝君) 日程第20、議案第82号「令和6年度南部町一般会計補正予算(第4号)」を議題とします。

本案について説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課長(菅谷信也君) それでは、議案書をご準備いただきまして、15ページをお開き願います。

議案第82号「令和6年度南部町一般会計補正予算(第4号)」についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の総額に1億4,294万9,000円を追加し、予算総額を120億423万6,000円とするものでございます。

18ページをお開き願います。

上段の第2表、債務負担行為補正は、令和7年度から8年度における包括業務に係る契約事務を今年度内に行う必要があることから、限度額を2億7,900万円と定め、債務負担行為に追加するものでございます。

下段の第3表、地方債補正は、旧福田集会所の跡地に除雪機械を格納する施設を建設するための設計業務について、道路管理施設整備事業債に1,880万円の限度額設定を追加するものでございます。

続きまして26、27ページをお開き願います。

歳出の主なものからご説明いたします。

中段2款1項、総務管理費の1行目、1目一般管理費の11節役務費は、10月1日からの郵便料改定に伴う対応といたしまして、200万円を追加するものでございます。

4行目の6目企画費の18節負担金補助及び交付金は、笑顔あふれるまちづくり支援事業補助金に90万円を追加するものでございます。

32、33ページをお開き願います。

下段、4款1項保健衛生費の2行目、2目保健衛生施設費は、保健福祉センターぼたんの里における中央監視装置の更新について、14節工事請負費から12節委託料に予算を組み替えるものでございます。

3行目、3目予防費の22節償還金利子及び割引料は、令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種対策費確定による返還金1,379万円2,000円を追加するものでございます。

34、35ページをお開き願います。

下段、7款1項商工費の1行目、1目商工業振興費に特別プレミアム商品券発行事業として、3節職員手当等の一部及び10節需用費から18節負担金補助及び交付金に8,756万7,000円を追加するものでございます。

36、37ページをお開き願います。

上段、8款1項土木管理費の1行目、1目土木総務費の12節委託料は、旧福田集会所の跡地に除雪機械を格納する施設を建設するための設計業務費用として1,980万円を追加するものでございます。

2段目、8款2項道路橋りょう費の1目道路橋りょう維持費の12節委託料は、道路台帳補正業務費用として100万円を追加するものでございます。

3段目、8款5項住宅費の1目住宅管理費の12節委託料は、公営住宅管理システム更新業務費用といたしまして、1,350万円を追加するものでございます。

38、39ページをお開き願います。

1段目、10款1項教育総務費の2目事務局費は、12節委託料に、ふるさとからの贈り物事業として177万3,000円、18節負担金補助及び交付金に、名川中学校創立20周年記念事業補助金20万円、受験生世帯灯油購入支援給付金765万円、大学生等を持つ親等への支援金935万円を計上するものでございます。

40、41ページをお開き願います。

10款5項保健体育費の1目保健体育総務費の7節報償費から13節使用料及び賃借料に、文化スポーツ講演会の経費といたしまして90万1,000円を計上するものでございます。

歳出につきましては、ただいま説明したもののほか、過年度分の福祉関係事業費の精算に伴う返還金の計上、人事異動に伴う人経費の調整のほか、特別会計の補正に伴う繰出金の調整などを

行っております。

ページを戻っていただきまして、22、23ページをお開き願います。

歳入の主なものについてご説明いたします。

上段、10款1項1目地方交付税は、本補正予算の不足財源を補填するため、9,285万9,000円を計上するものでございます。

24、25ページをお開き願います。

2段目、18款2項基金繰入金の4目地域振興基金繰入金は、令和5年度ふるさと納税事業の確定に伴う対応といたしまして、2,732万6,000円を計上するものでございます。

3段目、19款1項繰越金の1目繰越金は、令和5年度からの繰越金について当初予算との差額分、837万2,000円を計上するものでございます。

4段目、21款1項町債の4目土木債は、除雪機械を格納する施設の整備に係る、合併特例債分といたしまして、道路管理施設整備事業債に1,880万円を計上するものでございます。

歳入につきましては、ただいま説明したもののほか、過年度分の事業費精算に伴う追加交付金などを計上しております。

議案第82号の説明は以上でございます。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。山田賢司君

○議員（山田賢司君） ページ数は、34、35ページの商工費の中の1節1目商工業振興費の中の節で言えば、18節、補助金ですね。プレミアム商品券事業なんですけれど、昨年度50%のプレミアム率で販売したところ、即完売というふうな状況になりまして、追加販売もしたという経緯がございます。今回の販売方法というか、そういうものがもし決まっているのであれば、お知らせお願したいと思います。

○商工観光課長（川村一城君） 山田賢司議員のご質問にお答えいたします。

今回のプレミアム商品券は、昨年度と同じプレミアム率を50%ということで、町民の方々には5,000円で購入していただき、50%、2,500円のプレミアム率がついて計7,500円の商品券となります。

昨年度までは、1人購入限度を5セットとしておりましたが、今年度は3セットという形で販

売したいと思っております。

これも昨年度買えなかったという方もおりましたので、セット数の上限を下げることで住民のカバー率を上げて、広く町民の方々に購入していただきたいと思っております。以上です。

○議員（山田賢司君） ありがとうございます。

今、コロナが沈静化し、経済が活発に動いている中で、当初の目的というのは多分コロナ禍で落ち込んだ消費を喚起するというので、50%のプレミアム率をつけたと思うんです。

今経済が回復している中で、やはり地消によってはやはり南部町においても、やはり何て言うかな、個人消費を伸ばすっていう考え方もあると思うし、プレミアム率を下げてですね、消費に回る金額を多くする。仮に同じ予算の中で3割の30%のプレミアム率にすると、経済的でいうと3億ぐらいの、前回50%のところと計算上なると、1億の消費が増えるっていうふうな考え方になると思うんですよ。

そういう中で、ちょっとプレミアム率を下げてですね、この消費喚起っていうか、個人消費の増を。そうすると、今年の50%で買えなかったっていう人たちもたくさんいるわけですが、多くの人にそれが回る。販売もセット数を3セットにするということは、1人仮に3割にして、5セット買う。相対でいけば、同じ金額になるような気もするんですね。ですから、できればこの南部町に出回るお金を増やしたい。そういうことも考えられないのかどうか、お聞きしたいと思いません。

○商工観光課長（川村一城君） 今、山田議員さんからのご提案で30%のプレミアム率にして、広く町民の方々に、販売セット数を増やしてはいかがかということだと思いますけども、今までまず50%のプレミアム率ということで、町民の方々にプレミアム商品券の販売をしております。プレミアム率は現時点で下げたくはないということで、今回この50%のままで3セットに購入枚数を減らすことで、町民の皆様にも広く購入していただきたいなという形で、今年度50%の率は下げないまま、昨年度とのサービスは下げないままでの販売を計画しております。以上です。

○議員（山田賢司君） 今、昨年度と同じということで、それはそれでいいんですけど、いずれ、来年度商品券事業をずっと継続していけるかというとなかなかそれも難しいことになる。いつかはやめる。また商品券プレミアム率を下げて、予算を少し削ってでも続けていくという判断になっていくと思うんですね。だから、その理由付けをするのに今一番いいと思うんですよ。コ

ロナからあけたところでプレミアム率を下げましたと。そういう理由付けがあれば町民の方も納得していただけるのかなという思いもあって、今私の意見を述べているわけでありませうけども、商工業事業者としては、やはりこの商品券事業というのはすごい効果があるし、望んでいる部分もある。また、一般消費者もこういうのがあると、やはり買って使おうという気持ちになる。そういう部分でいくと、なんかこう理由付けがないと下げるときに下げづらいのではないかと私自身感じておりました、そういう部分も含めながら今発言させていただきました。検討をお願いします。

○商工観光課長（川村一城君） ただいまのご意見を参考といたしまして、今後そのプレミアム商品券の事業の継続廃止の部分も考え、原油高、物価高騰もごございますので、その経済状況を鑑みながら、議員の皆様と協議しながらそれを考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（工藤正孝君） ほかに質疑はありませんか。中館文雄君。

○議員（中館文雄君） ページ数は、37ページの8款土木費、住宅費のところでお聞きします。公営住宅の管理システム更新業務ということで1,350万計上してはいますけども、2、3日前に我々決算でも見たんですけども、これは4年度でも保守業務として55万くらいの支払いをして保守をしてるわけです。これをまた改めて、更新業務1,350万計上するっていうことも、使えなくなったのか、それともこれをやることによって管理システムが良くなるっていうのでこれをやるのか、これは目的としてどういうシステムを入れようとしてるのか、その内容と目的をひとつ説明いただきたいと思います。

○建設課長（石橋一史君） ただいまのご質問ですが、ページ数は36、37ページの公営住宅管理システムの更新業務でございますが、現在使用している住宅管理システムのサポートが今年度末、令和7年3月31日に終了することになっておまして、来年度4月から導入するシステムを構築するものでございます。

このシステムでは、入居者の管理や家賃の管理、収納管理、あとは帳票の出力等の業務を行っております。更新しなければ、これらの業務が4月以降できなくなりますので、今回計上させていただきます。

以上でございます。

○議長（工藤正孝君） 中館文雄君。

○議員（中館文雄君） 今課長の説明だと7年の3月と言いましたけども、6年の3月で今使っている機械は使えなくなる。7年の4月からは新たなものを導入しなければやれないという意味ですか。ですから、これはもう保守とかはもうやれる暇がないということはよくあることですからね。そんへんをちょっと確認です。

ですからもう、これをいれななければ管理システムできないんであってやればわかりますけども、使えるのを更新するというのもちょっと無駄かな。せっかく修理代を何十万かかけてやりますから。その辺を切って、ただこれやることによっても、来年の4月以降は管理できないっていうのであればこれはやむを得ないと思います。

その辺をちょっと確認です。

○議長（工藤正孝君） 建設課長。

○建設課長（石橋一史君） 現在のソフトが令和7年の3月で使用できなくなりますので、そのデータ移行等に伴う業務を行うものでございます。以上でございます。

○議長（工藤正孝君） ほかに質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第82号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。
議案第82号は原案のとおり可決されました。

◎議案第83号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（工藤正孝君） 日程第21、議案第83号「令和6年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。商工観光課長。

○商工観光課長（川村一城君） 議案書の43ページをお開き願います。

議案第83号「令和6年度南部町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）」についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の総額にそれぞれ50万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億1,350万円とするものでございます。

はじめに、債務負担行為補正についてご説明申し上げます。

46ページをお開き願います。

第2表、債務負担行為補正でございしますが、令和7年度から令和8年度まで2か年の包括業務受託業者の選定に着手するため、南部町包括業務当会計では、送迎用バス運転業務にかかる限度額を令和6年度予算同額70万円の2年度分140万円と定め、債務負担行為に追加するものでございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

52ページ、53ページをお開き願います。

1款1項1目管理運営費、3節職員手当等24万円及び下段4節共済費26万円の増額は会計年度任用職員の人件費、児童手当及び共済費で、歳出補正額の合計を50万円増額するものでございます。

次に、歳入についてご説明申し上げます。

ページを戻りまして、50、51ページをお開き願います。

下の表4款1項1目繰越金は、前年度決算に伴う54万8,000円の増額、上の表の3款1項1目一般会計繰入金は、歳入の増額により、一般会計繰入金を4万8,000円減額するものでございます。

議案第83号の説明は以上でございます。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第83号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。

議案第83号は原案のとおり可決されました。

◎議案第84号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（工藤正孝君） 日程第22、議案第84号「令和6年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。健康こども課長。

○健康こども課長（夏坂和徳君） 議案書の55ページをお開き願います。

議案第84号「令和6年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の総額にそれぞれ759万4,000円を追加し、予算の総額を22億1,091万3,000円とするものでございます。

第2条、債務負担行為の補正であります。58ページをお開き願います。

第2表、債務負担行為補正でございますが、一般会計同様、令和7年度から令和8年度における包括業務の委託業務の選定に着手したいことから、限度額を1,370万円と設定させていただくものです。

まず、歳出からご説明申し上げます。

64、65ページをお開き願います。

上段1款の総務費につきましては、人事異動に伴い人件費を112万6,000円増額するものでございます。

2段目から4段目までの3款国民健康保険事業費納付金につきましては、納付金額の確定に伴い、総額で426万5,000円減額するものです。内訳は記載の通りとなっております。

66、67ページをお開き願います。

上段4款の保健事業費につきましては、人事異動に伴い人件費を91万9,000円増額するものでございます。

2段目、7款の諸支出金につきましては、前年度実績確定に伴う返還金で981万4,000円増額するものでございます。

続きまして、歳入をご説明申し上げます。

ページを戻っていただいて、62、63ページをお開き願います。

上段5款1款1項1目の一般会計繰入金につきましては、歳出の人事異動に伴う事務費繰入金を112万6,000円増額するものでございます。

3段目の6款繰越金につきましては、繰越金112万5,000円を増額するものでございます。

2段目5款2項1目の財政調整基金繰入金につきましては、歳出総額に応じて財源の不足分534万3,000円を増額するものでございます。

議案第84号の説明は以上でございます。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

(「討論なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第84号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 異議なしと認めます。

議案第84号は原案のとおり可決されました。

◎議案第85号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(工藤正孝君) 日程第23、議案第85号「令和6年度南部町介護保険特別会計補正予算(第1号)」を議題とします。

本案について説明を求めます。福祉介護課長。

○福祉介護課長(戸室正樹君) 議案書の69ページをお開き願います。

議案第85号「令和6年度南部町介護保険特別会計補正予算(第1号)」についてご説明申し上げます。

第1条、保険事業勘定の予算総額に1億428万1,000円を追加し、予算総額を29億5,627万7,000円とするものでございます。

80、81ページをお開き願います。初めに、歳出からご説明いたします。

2段目の3款3項7目認知症総合支援事業費であります。認知症を学ぶのではなく、体験することで認知症のある方への理解を深めることを目的とした認知症VR体験学習を実施するための経費といたしまして、12節委託料に101万円を追加し、財源としまして、国庫補助金92万7,000円を充当するものでございます。

3段目の6款1項2目償還金であります。前年度の事業費確定に伴い、国や県などへ介護給付費負担金等を返還するための返還金、1億243万6,000円を追加するもので、財源としまして、前年度の繰越金を充当するものでございます。

下段の6款2項1目一般会計繰出金でありますが前年度の事業費確定に伴い、低所得者保険料軽減負担金を一般会計から国や県などへ返還するための繰出金83万5,000円を追加するものでございます。

続きまして、歳入につきましてご説明いたします。

76、77ページにお戻り願います。上段の1款1項1目第1号被保険者保険料であります。今年度の当初予算は、第8期の介護保険料で積算しておりましたが、第9期の介護保険料を引き下げたことに伴いまして、2,670万円を減額するものでございます。

3段目の7款1項1目一般会計繰入金でございますが、保険料の所得段階の低い第1段階から第3段階までの調整率を第8期よりさらに引き下げていることから、低所得者保険料軽減繰入金を1,141万4,000円減額しているものでございます。歳入のうち、特定財源につきましては、歳出でご説明した通りであります。なお不足する財源につきましては、4段目の7款3項1目介護給付費準備基金繰入金を追加し、対応するものでございます。

議案第85号の説明は以上でございます。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありますか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第85号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。

議案第85号は原案のとおり可決されました。

.....

◎議案第86号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（工藤正孝君） 日程第24、議案第86号「令和6年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」についてを議題とします。

本案について説明を求めます。健康こども課長。

○健康こども課長（夏坂和徳君） 議案書の83ページをお開き願います。

議案第86号「令和6年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の総額からそれぞれ95万4,000円を減額し、予算の総額を2億9,553万3,000円とするものでございます。

第2条、債務負担行為の補正でございしますが、86ページをお開き願います。

第2表、債務負担行為補正でございしますが、令和7年度から8年度の包括業務にかかる限度額を530万円と設定させていただくものでございます。

まず、歳出からご説明申し上げます。92、93ページをお開き願います。

上段、1款総務費及び2段目の4款保健事業費につきましては、人事異動を行い、人件費をそれぞれ160万円減額、64万6,000円増額するものでございます。

続きまして、歳入をご説明申し上げます。

ページ戻って90、91ページをお開き願います。

2段目、4款繰越金は、前年度繰越金1万7,000円を増額し、上段3款の繰入金につきましては、歳出の人件費の減額に伴う事務費繰入金を97万1,000円減額するものでございます。

議案第86号の説明は以上でございます。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第86号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 異議なしと認めます。

議案第86号は原案のとおり可決されました。

◎議案第87号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(工藤正孝君) 日程第25、議案第87号「令和6年度南部町下水道事業会計補正予算(第1号)」を議題とします。

本案について説明を求めます。建設課長。

○建設課長(石橋一史君) 議案書の95ページをお開き願います。

議案第87号「令和6年度南部町下水道事業会計補正予算(第1号)」についてご説明申し上げます。

今回の補正は、人事異動に伴う人件費の補正でございます。

第2条は、予算第3条に定めております予定額の補正といたしまして、第3款農業集落排水事業費用に208万9,000円を追加し、予定額を2億6,329万円とするものでございます。

次の、第3条は、予算第4条に定めております資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額、いわゆる当年度分損益勘定留保資金で補填する額の9,452万3,000円を9,535万2,000円に改めるものでございます。

また、予定額の補正といたしまして、第1款公共下水道事業資本的支出に44万7,000円を追加し、予定額を1億3,382万4,000円とするもの、第2款特定環境保全公共下水道事業資本的支出に38万2,000円を追加し、予定額を3億9,827万8,000円とするものでございます。

次の、第4条は、予算第10条に定めております給与費に291万8,000円を追加し、予定額2,199万4,000円とするものでございます。

98ページをお開き願います。

令和6年度南部町下水道事業会計補正予算明細書についてご説明いたします。

上段の表の収益的支出の下水道事業費用でございますが、人事異動に伴い人件費208万9,000円を追加し、総予定額を4億2,229万5,000円とするものでございます。

次に、下段の表の資本的支出の下水道事業資本的支出でございますが、人事異動に伴い人件費82万9,000円を追加し、総予定額を6億5,116万6,000円とするものでございます。

以上で議案第87号の説明を終わります。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第87号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。

議案第87号は原案のとおり可決されました。

◎常任委員会報告

○議長（工藤正孝君） 日程第26「常任委員会報告」を議題とします。

本件は、配布しております報告書のとおり、常任委員長から報告がありました。説明を省略し、質疑を行います。質疑はありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 質疑なしと認めます。

質疑を終わり、常任委員会報告を終わります。

◎委員会の閉会中の継続調査の件

○議長(工藤正孝君) 日程第27「委員会の閉会中の継続調査の件」を議題とします。

本件は、配付しております申し出書のとおり、会議規則第75条の規定により、常任委員長から閉会中の継続調査の申し出がありました。

お諮りします。委員長から申し入れた通り決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(工藤正孝君) 異議なしと認めます。委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査をすることに決定いたしました。

◎日程の追加

○議長(工藤正孝君) お諮りします。

本日町長から議案第88号「工事請負契約の締結について(旧杉沢中学校解体工事)」と議案第89号「人権擁護委員の候補者の推薦について」の議案2件が、追加提案されました。この際、会議規則第22条の規定により、これを日程に追加し、議題にしたいと思えます。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。議案第88号と議案89号の2件を日程に追加し、議題とすることに決定しました。

ここで、会議資料配付のため、暫時休憩とします。

（午前10時50分）

.....

○議長（工藤正孝君） 休憩前に引き続き会議を再開します。

日程はお手元に配付のとおりです。

（午前10時51分）

.....

◎町長追加提出議案提案理由の説明

○議長（工藤正孝君） 追加日程第1、町長追加提出議案提案理由の説明を求めます。

町長の登壇を求めます。町長。

（町長 工藤祐直君 登壇）

○町長（工藤祐直君） それでは、本日追加提案いたしました議案2件につきまして、ご説明申し上げます。

議案第88号「工事請負契約の締結について」であります。旧杉沢中学校解体工事の請負契約について、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第89号「人権擁護委員の候補者の推薦について」であります。令和6年12月31日をもって、任期満了となります現在の委員4名の、後任の委員の国への推薦について、人権擁護委員法の規定に基づき、議会の意見を求めるものであります。

委員として推薦する方は、まずは、再任の方であります。住所、南部町大字大向字飛鳥41番地7、氏名、谷内恭介氏、昭和29年5月23日生まれ、同じく住所、南部町大字沖田面字南本村63番地、氏名、石井みほ子氏、昭和31年2月11日生まれ、住所、南部町大字剣吉字堰合13番地2、氏名、川守田いつみ氏、昭和33年7月26日生まれの3名であり、新任の方は、住所、南部町大字下名久井字田端22番地、氏名、工藤清和氏、昭和36年4月29日生まれであります。

推薦する4名の方は、いずれも優れた識見と豊富な経験を有しておられますので、適任者と認め推薦いたしたく、議会の意見を求めるものであります。

なお、任期につきましては、令和7年1月1日から令和9年12月31日までの3年間であります。

以上、追加提案理由の説明といたしますので、慎重審議の上、何卒、ご議決、ご同意を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（工藤正孝君） 町長追加提出議案提案理由の説明が終わりました。

◎議案第88号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（工藤正孝君） 追加日程第2、議案第88号「工事請負契約の締結について（旧杉沢中学校解体工事）」を議題とします。

本案について説明を求めます。建設課長。

○建設課長（石橋一史君） 追加提案説明資料の3ページをお開き願います。

議案第88号「工事請負契約の締結について（旧杉沢中学校解体工事）」についてご説明いたします。

契約の相手方は、南部町大字上名久井字外ノ沢10番地2、株式会社松本工務店、代表取締役、松本保築。請負代金は、1億2,100万円。落札率は81.00%。条件付き一般競争入札で行われ、入札業者等は4ページの入開札一覧表の通りであります。

工事の内容であります。敷地面積1.6haの旧中学校校舎の教室や体育館のほか、機械設備や付属施設の解体処分を行うものです。

工期は、町が本契約を成立させる旨の意思表示をした日から令和7年3月25日までであります。

以上で、議案第88号の説明を終わらせていただきます。

○議長（工藤正孝君） 説明が終わりました。

質疑を行います。質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。
討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。
議案第88号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。
議案第88号は原案のとおり可決されました。

◎議案第89号の上程、質疑、討論、採決

○議長（工藤正孝君） 追加日程第3、議案第89号「人権擁護委員の候補者の推薦について」を
議題とします。

本案については、会議規則第39条第2項の規定により、説明を省略したいと思います。ご異議
ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 「異議なし」と認めます。説明を省略し、質疑を行います。
質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。
討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第89号を採決します。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（工藤正孝君） 異議なしと認めます。

議案第89号は原案のとおり同意されました。

◎閉会の宣告

○議長（工藤正孝君） 以上で本定例会に付議されました事件は全部終了しました。

ここで閉会に当たり、町長から発言の申し出がございしますので、これを許します。町長。

（町長 工藤祐直君 登壇）

○町長（工藤祐直君） 第126回南部町議会定例会の閉会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本定例会は、8月30日から本日までの日程で開会され、議員各位には、何かとご多忙の中、ご出席をいただき、誠にありがとうございました。

追加提案いたしました案件も含め、提出いたしました全ての案件につきまして、慎重審議をいただき、ご議決・ご同意を賜りましたことに対しまして、心から御礼を申し上げます。

とりわけ、令和5年度南部町一般会計及び特別会計の、計16件の歳入歳出決算につきましては、決算特別委員会において綿密なご審議をいただき、深く敬意を表する次第であります。

審議の中で、議員各位からいただきました、様々なご提言には、十分留意いたしまして、今後の行財政運営に、役立ててまいりたいと考えております。

さて、先月29日に九州に上陸した台風10号は、進路や速度を刻々と変化させながら、今月1日には熱帯低気圧に変わったものの、その後も前線を刺激して各地に大雨をもたらしました。

翌2日には、当町においても大雨警報及び洪水警報が発令され、続いて土砂災害警戒情報が発表されたことを受け、災害警戒本部を設置し、町内全域に避難指示を発令するとともに、3箇所

の避難所を開設して対応したところであり、大向地区で床下浸水が1件、相内地区では落雷による停電が発生しました。また、県道の数箇所において急激な浸水がみられたため、ほっとスルメールによる注意喚起のお知らせをいたしました。

そのほかに大きな被害はありませんでしたが、九州から関東にかけての広い範囲で台風による災害が発生したところであり、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、度重なる自然の猛威に対し、準備を怠ることなく、万全を期してまいりたいと考えております。

台風の影響が心配された「第32回青森県民駅伝競走大会」であります。先般、教育長からも報告がありましたが、予定どおり今日1日に開催され、南部町チームは町の部で4位、総合では11位という結果でありました。

厳しい暑さの中、選手一人ひとりが力走を見せ、最後まで見事にタスキをつなぎきり、勇気と希望を与えてくれました。選手及び関係者の皆様には、心からねぎらいの言葉をお贈りいたしますとともに、来年度のさらなるご活躍を期待したいと思います。

次に、現在の農作物の作柄であります。水稲につきましては、先日の農林水産省の発表によりますと、青森県の作柄指数が全国唯一となる「良」とのことであり、概算金の引き上げも期待されることから、喜ばしい刈り取り時期を迎えられるものと思っております。

また、順調に生育が進んだりんごにつきましては、すでに早生種の収穫が始まっており、今後収穫期を迎える品種につきましても、作柄が期待されるところであります。

今後も安定した天候により、素晴らしい出来秋を迎えられますことを祈念するとともに、町内の観光農園におきましては、多くの皆様に、当町自慢の秋の味覚を、お楽しみいただきたいと考えております。

そして、明日から始まる「名川秋まつり」と、来週、14日、15日に開催される「とまべちまつり」が、多くの来場者で賑わいを見せますことを、期待するものであります。

さて、9月に入り、令和6年度も折り返し地点が近づいてまいりました。

今年度、実施を予定している事業につきましては、その進捗状況を確認し、適正・確実に実施するよう努めてまいります。

また、本定例会において、令和5年度の決算について認定をいただき、今後は令和7年度の当初予算編成を進めてまいります。

近年の地方財政は、税収が伸びない中、社会保障等義務的経費の増加分を、人件費や投資的経費の抑制のほか、低金利による利払い費の減少などで吸収するという構造が続いてまいりました。

しかし、人口減少対策や、DXなどの新たな行政需要に対応するため、職員のこれ以上の削減

は困難であるほか、職員の定年延長、会計年度任用職員への勤勉手当支給、民間給与の上昇に伴う人事院勧告などにより、給与関係経費の伸びが見込まれます。

また、通常業務に係る事務費や施設管理経費は、エネルギー価格や物価の上昇のほか、民間の賃上げなどにより、今後、継続的に増加していくことが見込まれます。

さらに、日銀による政策金利の見直しにより、公債費の利払い費が増加するなど、地方財政に中・長期的な影響が生じる恐れがあります。

このように、平常業務等に係る経費の増加が見込まれる中であって、6月に閣議決定された、政府による今年の経済財政運営と改革の基本方針、いわゆる「骨太の方針」では、地方財政に関し、「来年度の国・地方を合わせた基礎的財政収支の黒字化を目指す」旨のほか、「地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の総額は、令和6年度地方財政計画と同水準を確保」との記述がされており、増加が見込まれる財政支出に対し、実質的な一般財源は減少するものと予想されます。

このような中であっても、町民の負託にこたえられるよう、8月末をもって締め切られた国の各省庁からの概算要求の情報収集を行うほか、町村会などの関連団体との連携により、国及び県に対し必要な要望活動を進めながら、決算審査において議員各位から賜ったご意見などにも留意しつつ、予算編成作業を進めてまいりますので、議員各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、最近では昼夜の寒暖差に、秋の気配を感じるようになりましたが、日中は残暑の厳しい日が続くものと思われまます。

議員各位におかれましては、くれぐれもご自愛いただき、町政発展のため、引き続きご活躍いただきますことを、お願い申し上げます、本定例会のお礼のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（工藤正孝君）　ここで、閉会にあたり、私からも一言ごあいさつ申し上げます。

今期定例会は、8月30日から本日までの8日間でありましたが、議員各位におかれましては、ご熱心に審議を賜り、令和5年度の各会計決算認定をはじめ、条例等の改正、令和6年度各会計補正予算など、多岐にわたる議案の成立がなされましたことを、議長として厚くお礼申し上げます。

また、議事の進行に伴い、各位のご協力を得ましたことを、重ねてお礼申し上げます。

町長はじめ、理事者各位におかれましては、審議の過程において表明されました提言、意見等

を踏まえながら、今後の施策のうえに反映されますことを、要望する次第であります。

皆様におかれましては、今後ますますご健勝で南部町発展のために、格段のご尽力を賜りますよう心からお願い申し上げまして、甚だ簡単ではありますが、お礼のあいさつといたします。

ありがとうございました。

○議長（工藤正孝君） これをもちまして第126回南部町議会定例会を閉会します。

（午前11時07分）

地方自治法第 126 条の規定により下記に署名する。

南部町議会議長 工 藤 正 孝

署 名 議 員 根 市 勲

署 名 議 員 沼 畑 俊 吉